

つた。

ところが總同盟の指導者達は今度の組織運動に於ても黨の成立に就て兎角妨害を試みたのであつた。しかし、大衆の壓力により準備は進行し第二回會議を東京に於て開くことになり、彼の名な「玉姫クラブの申合せ」なるものが出来たのであつた。「玉姫クラブの申合せ」とは、第二回協議會が開かれた會場の名稱をとつて、そこで申合せられたことを云ふのである。

玉姫クラブに於ける協議會は左翼抜きの場合であるから議事はスラ／＼と進んだ。そして黨の性質は「現實に立脚した大衆政黨」といふことに皆の意見が一致したのであつた。

總同盟からは麻生、赤松の兩氏が代表者として出席してゐたが表面的には一切の態度をどこまでも保留した、而して色々左翼の悪口を並べ立て結局「評議會、政治研究會、無産青年同盟、水平社青年同盟の四團體の者は、その幹部たるを問はず、共産主義的色彩のある者は絶対に入黨を拒絶する事竝にその他綱領規約に反する者は一切拒絶する事」が固く申合せられた。しかもこの申合せは一握りの幹部だけによつて申合せられ、他へは「絶対秘密」にして置く事が約束されたのである。これが所謂「玉姫クラブの申合せ」なのである。

總同盟は會議には公然として列席しながら一切の態度は保留するといふ奇妙な態度をとつてゐたが二月廿七、八兩日の中央委員會の決議だと云つて左のことを發表した。

「總同盟は從來の如く今後も亦友誼團體と協力して健全なる無産政黨を成立せしむべく努力する、但し總同盟は共産黨排除の態度を以て創立委員會に臨む——」

そして右の主旨を具體的に列記したのであるがそれは「絶対秘密」にしてあつた「申合せ」の内容そのまゝであつた。

總同盟の態度

他團體の代表者が順調に急速に兎に角政黨を再建しようとしてゐる時、總同盟はその只中へ我利我利主義の石を投じた。

だが總同盟にとつては今にして此態度を明かにして置く事は實に大切なことであつたのである。何となれば他團體の代表は兎角總同盟を引張り込むために機嫌とりに色々の申合せはしたが、極く少數の者の申合せ、しかも「絶対秘密」の申合せがどれだけの効果があるであらうか？ だから今のうちに秘密の申合せを公にして置きたかつたのである。

かくて意外な一波紋が起るが、れたのだが、創立委員會は三月三日大阪中央公會堂に於て開かれる運びとなつた。

山上武夫氏が議長となり開會を宣するや、直に麻生久氏は「議長」と發言を求め、

「總同盟の決定したる態度に就て懇談したい」と提議した。これに對し莊原達氏は、その前に麻生氏に質問がある、と起ち上り、

- 一 總同盟の聲明は絶對のものか？
- 二 總同盟の委員は組合から全權を委任されてゐるか？

麻生氏は「實はそのことで秘密懇談會を要求するのだ」と答へた。

そこで直ぐ秘密會に移り長時間に互り協議した結果、總同盟の方で折れて一切を讓歩することになり漸くをさまつた。後に綱領、規約審議のための小委員會を作ることとなり、最後に三宅氏の動議で三月五日に結黨式を舉行することに決定した。

結 黨 式

結黨式は型の通り盛大に舉行された。

労働農民黨の綱領、政策が無産階級の政黨として著るしく不徹底である事はまぬがれない事であつた。殊にその宣言に至つては穩健を通り越して寧ろ反動的な文句さへあつた。かうした點はこゝにあげるまでもないことであつて例へば黨の名稱が問題になつた時の如き労働農民黨では結局「労働黨」と略稱されることになる。それではロシアの労働政府を聯想される怖れがあるから「労働黨」

としようぢやないかし」といふ意見が出た。しかしながらそれでは農民に親しみがなく、別に「農民黨」が出来るかもしれん。それでは困るといふので詮方なく労働農民黨に決定した。

これだけで色々の事情が充分判断される譯である。

兎にも角にも幾多の波亂を克服して歴史的な大事業を達成した農民組合幹部の努力は多とすべきである。

黨の中央委員長は杉山元次郎氏、書記長は三輪壽壯氏である。

分裂の準備

政黨成立以後も——否一層、總同盟幹部が左翼を排除するために血眼になつて奮闘したことはも早云はなくともいふ。右翼の首領連中は單に左翼の侵入を防止し絶對排撃するだけではなく、正直に云はすれば、黨を決定的な社會民主主義の政黨にしたいのであつた。それが一貫した彼等の方針であり、そのために今まで妨害、怠業をつゞけて來たのであつた。

今漸く成立した政黨はいづれの點からみても所謂「共產黨」的な色彩は全くなく一〇〇%の合法的政黨ではあるが、しかしこれだけではまだく、彼等は安心出来なかつた。彼等はどうしても例の「玉姫クラブの申合せ」を黨の公然たる決議にしたかつたのである。殊に前には中央委員會の決議

として聲明したものを一應譲歩してゐるのである。而もその際左翼よりは「邪は正に勝たず！」等と強次られたのだから彼等はやつきになつたのである。そこで結黨式の夜開かれた労働農民党の第一回中央委員会に於ては「黨の健全なる發達のため」と稱して排撃する四團體の名を列べる代りに参加を歓迎する團體を決定した。之に所屬する個人のみの入黨を勧誘すると云ふのである。この規定によつて秘密の「申合せ」がや、公然たるものになつたのである。

それから組織の點であるが、この方は、いつ分裂しても、脱退しても差支ない様に注意深く準備してあるのである。即ち規約第六章地方支部の項の第二節第二十五條には、

「支部は中央執行委員会の承認を経て地理的區劃により黨員五十名以上を以て組織するものとす、但し必要ある場合は中央執行委員会の承認を経て適宜之を組織することを得」（傍點筆者）

これによつて「地理的區劃」といふ原則は全く空文になり總同盟の會員だけで、官業労働は官業労働の組合員だけで支部を組織出来るやうにしてしまつたのであつた。これでは地方的政治闘争の主體になるべき筈の支部が全く無力なものになるのであるが、しかし一方萬一分裂問題の起つた時には、すつかりそのまゝ、「分裂」出来る便利があるのだ。彼等は早くも用意をしてゐる。

一黨の差で門戸開放

以上によつて黨は確立し、黨の活動はこれから開始される筈であつた。だがこの全國的單一的協同戦線黨たる労働農民黨は中心的活動分子——左翼團體——を除外してゐるのだから何一つ積極的な行動をなし得ないのであつてそれは恰も血の通つてゐない人形の如きものであつた。之に對して勿論反對の聲が猛烈な勢で都會からも農村からも擧つた。かうしたやかましい叫びの中で第二回中央委員会が開かれ、この時、いよく黨への入黨資格問題が確然として決定されるのであつた。四月十八日である。

時節柄この會議は非常に重要なものとして注目されたのであるが、ここで二つの案が上提されることになつた。左に列記して見よう。

第一案 (川村案)

- (一) 一般に門戸を解放すること
- (二) 玉姫クラブの申合せを具體化する方として此政黨の基礎が確立するまで當分の間四團體員の入黨を拒絶すること

第二案 (坂本案)

- (一) 一般に門戸を解放すること
- (二) 玉姫クラブの申合せに基き、政黨の各機關に於て、入黨資格を充分審査すること
- (三) 右の方法は各支部に於て決す、若し決せざる時は左の順序に依る

(イ) 府縣支部聯合會

(ロ) 中央執行委員長、書記長、會計

(ハ) 中央執行委員會

右の二つの案に就て盛んな討論が起り甲論乙駁の揚句裁決したところ、

坂本案九票 (農民組合、組合總聯合、司厨同盟)

川村案八票 (總同盟、自治會、官業、製陶)

かくて農民組合等の頑強なる主張が通り、僅か一票の差ではあつたけれども黨の門戸は解放されたのであつた。

評議會は慎重なる態度を以て直に支部組織とそれの擴大強化のために地方的日常的政治闘争への活動に着手した。

第七章 無産黨分裂時代來る

一、評議會第二回全國大會

前奏曲

第二回目の全國大會は陽春四月十一、十二、十三の三日に亘る東京芝公園内協調會館に於て開かれた。今年一月下旬に擴大中央委員會を催して當面緊要な問題は解決してゐるのと、その後の社會狀勢に大きな變化もないから評議會の運動方針に訂正を加へる必要もなかつた。従つて今度の大會は陽春の時候にふさはしい實にのんびりしたところの定期大會であつたのである。

たまたま關西方面の一部代議員が旅費を節約する目的で汽船便を利用したのであるが、横濱へ上陸した時水上警察署がそれをロシアから來たと誤解して大騒がもち上り、それが例の逆宣傳の材料となつて新聞紙上を賑はしたことがある。この時馬鹿を見たのは杉浦啓一、松尾直義、河田賢治の三君でこのドサクサ紛れに譯も判らぬ檢束を喰つた。

かやうな前奏曲があつたので大會は妙に緊張した。

祝電の中には中國總工會からの長文の電報があり、又總同盟に現在加盟してゐる組合、支部等からのものもあつた。殊に九州聯合會の各組合から數通の電報が来て、そのどれもこれもが總同盟指導者を非難し、評議會を激動するものばかりだつたので盛んな拍手が眞に嵐の如く起つた。私は議長席から議場を見てゐたが、階下傍聽席の一隅に西尾末廣君を見出した。西尾君にして見れば、自分の方の所屬組合から反對派評議會の大會にかくの如く祝電を寄せそれが歓迎されてゐる光景を見せつけられたのでは少しもうれしくはないであらう。私はこの際傍聽者西尾君に發言の機會を提供してあけてはどうかと考へた。さうすると屹度西尾君のことだからづう／＼しく演壇へノコ／＼やつてきて、「その電報は偽物である」とか又は「九州聯合會は我總同盟から除名してある」なんて云ふであらう。嘘にもせよさう云へば少しはゴマ化しが出るのではあるまいか？ で私は、傍聽席の西尾君に向つて「西尾君、九州の方は一體どうなつてゐるのですか、この祝電はあまり我々の方に都合がい、やうですが、なんでしたら發言してもよござんす……」

と云つた。この私の言葉で代議員は一齊に後へ振向き傍聽者の視線も亦西尾君の顔に集中した。西尾君は憤然として起立して嗚鳴つた。

「議長、議事の進行に就て僕の説明が必要か！」

否、否、断じて否である。殊に我國の勞働團體の凡ゆる大會に於て反對派團體の傍聽者に發言の

機會を與へた例は會つてない。西尾君は私の言葉をツテアテだと思つたらしい。私は私の言葉を取消して議事の進行にかゝつた。

報 告

本部の報告は擴大委員會の時の報告に少し附け加へた點があるばかりのことである。擴大委員會以後今日までに二つの組合が加盟して組合數合計四十六組合、組合員は九百名増加して三萬二千三百九十二名となつた。

爭議部の報告した統計は次の如くである。

地 方	件 數	参 加 人 員
關 東	二四	五五三一
大 阪	四一	一七一〇
京 都	二六	一六〇九
中 部	一一	一〇四六
北 海 道	一	一〇
中 國	三	二二八

業種	件数	参加人員
計	一〇九	三三〇
神		一〇四六四
業		
業別件数及び人員数		
金	二二	二四一六
化	一三	九一三
木	二一	七二六
織	二四	四八六七
印	一三	四二九
計	一〇九	一〇四六四
原因別件数及び人員数		
解雇	二五	一四五三
賃銀値下	三一	一三八八
労働条件劣悪	一五	一五六七
低賃	一一	六七一
工場閉鎖	八	三三三
計	一〇九	一〇四六四

解雇手當不備	五	二八九
上役に不満	二	六四二
同情罷業	一	二七
其他	一一	四〇九
計	一〇九	一〇四六四

附記—本表は泉州及び出版印刷労働の労働報告を缺く。

議事

大會上提議案は全部で二十五あつた。そのうち特に重要なものは(一)国際労働組合統一運動(二)組織部の充實(三)政治部活動統一(四)總聯合並に産業別合同(五)消費組合運動(六)會費値上げ(七)機關紙々面擴張等であつて最も盛んに討論されたのは「婦人部設置」の議案であつた。

▲ 国際労働組合統一運動の件、は擴大中央委員會の決議と同様に汎アシア會議の成立に援助すること、そしてこの統一運動のために獻身的努力を續けてゐる英國労働組合會議執行委員パーセル氏に感謝の書簡を送ることにした。

本大會は国際労働組合統一に關する英露委員會の努力に對して滿腔の敬意を拂ふと共に之が成功を衷心より祈るものである。

▲ 消費組合運動に關する件、從來この運動に關してあまり注意しなかつたが過般の共同印刷争議の経験によりその重要性がよく判つた。だから今後はこの消費組合を闘争の一機關として積極的に支持することにした。

▲ 連合運動の件、現に大阪組合會議が提唱してゐる全國組合會議開催の運動に賛成しその成立に努力することになつた。

▲ 會費値上げの件、値上すべき金額、實施する期日に就て異論があり結局中央委員會一任。

さて、婦人部の問題であるが、之は昨年の全國協議會に於て一應解決して居つた。ところが此時には組合及び地方に婦人部を設けることになつてゐたゞけで總本部には婦人部がなかつた。それで「本部に婦人部を設置する件」が提案されたのである。それ迄評議會指導部の中に婦人部と云ふが如き特別な部門がはたして必要なものかどうか？ といふ意見が生じて來て色々論議されたが、そして大會直前の中央委員會では「婦人部の必要なし」と決定した。

ところがこの大會へ丹野せつ君が婦人部を作れといふ議案を出した。

そこで改めてこのことが大衆討論の題目となつたが丹野せつ君が率先して討論となり意外な大問題となつてしまつた。論議が進むに従ひ單に婦人部設置の可否だけではなく、もつと根本的に、婦人労働者全體に對する闘争組織の戦術、戦略にまで發展し、つひに大會席上の指導部の人々の間にも意見の相違が生じて來た。

かくて此問題は討論がつきず、委員會附托となつた。しかしながらこゝでも意見の一致を見るに至らずして結局一年間保留することに決定した。

大會エピソード

大會二日目である。この日婦人部の問題が討論されると云ふので傍聽席へは美しい多くの婦人（未婚夫人）が押し合ひへし合ひ詰めかけた。そこへ農民組合を代表して莊原達君があつた熱辯をふるつて祝辭演説をやつた。勿論これは「祝辭」演説ではあるが農民組合中の平野力三一派が分裂の策動をやつてゐた最中だつたので莊原君の演説はそのことを攻撃するための三十分にも及ぶ大演説になつてしまつた。

「左翼々と右翼の奴等が云ふが右から見れば世界中がすべて左に見えるのだ！」

とタンカを切つたのが痛快だつたので代議員は總立ちになつて「農民組合萬歳！」を叫び同君の健闘を祈つた。

x

x

x

x

評議會のこの大會の前に總同盟の大會があつた。その時評議會本部へ招待狀が來たからわざわざ、中村義明君を派遣したことがある。その時警備隊の連中が同君を包圍してメチャクチャになぐり、

眼鏡を壊し顔に負傷したのである。「招待しておいて暴行を加へるとは言語道断である！」と評議會では憤慨した。ところが此大會へ西尾君が来て熱心に傍觀してゐるので我々の警備隊は承知しなかつた。

「中村義明（本部常任委員）の復讐だ！」

「西尾の野郎叩きのめせ！」

「やつちやへへへ！」

私はこの形勢を見て断然制止した。

「總同盟の大會は評議會の者に見られたくないんだ。しかし我々の方では堂々と大會を彼等にもみせることにわれわれ自身の意義もあれば權威もある、一西尾をなぐつてわれわれ労働者の精神を失つてはならぬ！」

休みの時間に會場の下の食堂で偶然にも山川均氏と福本和夫氏と私とが食卓を一つにした。その時福本氏は山川氏を「先生々々」と呼んで山川氏に「レーニン著作集」の監修者になつてくれ、と頼んで居つた。山川氏は「僕にはトテモ出来ぬ」とそれを拒んで、

「野田君、私は福本君にすつかり折衷主義者にせられましたよ」

さう云つてコーヒー茶で薬を呑んだ。

二、大阪組合會議破壊さる

大阪組合會議の提唱

總ての無産團體——勞・農——の全國的聯合を組織したいと云ふ問題はかなり古くからの懸案であつた。

評議會はこの問題に就ても最も積極的であつた。ところがこの希望が漸く具體化する日が來たのである。彼の二月七日に行はれた悪法反對示威運動はすでに見た如く相當に成功した。而もこの運動が各地方の「組合會議」若くは「地方協議會」が單位となり主體となつたことは「總聯合」の氣運を一步前進せしめたものであり又その可能性を確信せしめるに充分であつた。

かゝる客觀的状態を見た大阪組合會議（總同盟を除く十二團體にて組織するもの）は全國の各種無産團體に對して總聯合結成の準備行動として「全國勞農組合會議の開催」を提唱した。

我國に於ける「總聯合」問題の歴史の跡をふり返るならば、先づ大正十一年四月二日總同盟關西勞働同盟會大會が「名實伴ふ總聯合を結成するためには總同盟の解體をも辭せず」と決議した事を思ひ浮べる。この關西同盟會の決議は同年九月三十日天王寺公會堂に於ける總聯合創立大會にまで發展し、つひに理論的對立——アナとボル——抗爭によつて遺憾ながら決裂した。

その後の二三年間は凡ゆる組合の大会等に於て「總聯合」の問題が問題となり、決議された。そして各地方に地方的協同戦線組織としての組合會議又は協議會が成立した。

このことは大衆が戦線統一を非常に熱望してゐることを示すものである。

一九二六年三月十七日に大阪組合會議が全國勞農組合代表者會議開催を提唱したことは時宜に適合したものと云はなければならぬ。

大阪組合會議のこの提唱は、全國の戰團的無産者團體の間に異常な歓迎を受け、熱烈な支持を得たのであつた。

時恰も勞農黨成立直後であつて、この黨が活潑に闘争を開始するがためにはどうしても全國の勞農團體が一致協力して、支持援助するに非ざれば駄目だといふ考へが共通してゐたから「總聯合促進」の叫は期せずして全體のスローガンとなつた。従つてリーダーの宣言の中にも決議文の中にも亦標語の中にもこの文字が織り込まれたのであつた。而して更にこの運動に拍車をかけたものは英國のゼネラル・ストライキの報道であつた。

英國九十萬の炭坑夫が先頭に立ち、三百萬の勞働組合員が今年五月四日、一齊に奮起したといふことは我國勞働運動界に大きなショックを與へた。しかもこのゼネ・ストが勞働組合會議の指導統制の下に断行されたといふ事實がわれわれを驚かした。

かくの如き實際の出来事を見て、この運動はとみに活氣を加へることになり着々と準備は進められた。かくて六月二十日、大阪中央公會堂に於て會合をもつことになつたのである。

總同盟の態度

こゝで問題になるのは總同盟の態度である。總同盟は單一政黨組織過程に於てよく妨害した。而して又此度の問題に就ても彼等は相變らずよく妨害した。

總同盟機關紙「勞働」六月號には「空想的總聯合を排す」といふ見出しの一文を掲げてゐるがそれは、

- 一 我國に於ける勞働組合は眞の實力を持たないのであるから總聯合が成立しても微力とならざるを得ないのみならず反つて重荷となる。
- 一 異なる指導精神を有する組合の總聯合は結局不可能である。

と云ふのだ。だから左様なことに力を浪費せず一個の實力ある組合を作ることが必要である。而してかゝる企ては共產黨の陰謀であるから警戒しなければいけないと、例によつて評議會の中傷攻撃を以て結んである。しかも同紙上には今一つ重要な記事がある。それはイギリスのゼネスト援助のためにソビエトから金を送つて來たのをトーマス一派の裏切幹部が拒絶した事に關し「かく

の如きは英國労働階級の利益である」と書いてゐるのだ。これだけで總同盟の態度は明々白々ではないか。

評議會の見込と方針

評議會では、總同盟指導者の意志が如何に會議のブチ壊しにあるにしても客觀的條件と周圍の壓力により結局準備會は成立するものと思つた。總同盟自身の大會に於ける決議の手前もあるだらうし眞向から反對する理由もあるまい。だから政黨の場合と同じく「邪は正に勝てず」で何だかだと云つてはゐても反對し切れず追隨して來るもの、やうに考へた。要するに此時分にはまだ彼等の正體をハッキリ認識してゐなかつたのであつた。

で、評議會の方針は、會の構成、機關、權限等に就てはよしそれが骨抜にされるやうなことがあつても設方ないとして譲れるだけは譲り、兎に角會を成立させよう。總聯合の組織が急速には不可能であれば、その準備機關でもい、何等かの形式で一應「會」の設置だけはしなければならぬ。そのためには右翼とどこまでも妥協し、又必ず妥協し得らるゝものだと思つてゐた。

會議は破壊された

六月二十日である。「全國勞農組合代表者會議」は十六團體八地方組合會議若くは協議會の代表者五十名の出席によつて開かれた。この組織人員約十七八萬人である。

會議は午前十一時、坂本孝三郎君を議長にして開會された。總同盟からは西尾末廣君外二名出席した。

總同盟の代表者達は開會劈頭、早くも會議ブチ壊しのため決定的態度を以て攻勢に出た。即ち彼等は、

- 一 評議會は共產黨の手先だと社會的に見られてゐるからこれに参加せしめる事は危険である。
- 二 全國の凡ての團體が完全に意見の一致せぬ時に無理をして組織すれば將來の發展を阻害する、勞農黨が現に發展せぬのは創立當初に無理があつたからだ。
- 三 現在組織し得るやうな組合會議は無効である、そんなものなら要らない。
- 四 日本の勞農組合が全部参加してゐない故に反對である。

大體かうである。而も彼等は云ふ「京都よりは評議會の幹部谷口善太郎君。兵庫縣よりは同じく板野勝次君。九州よりは總同盟が除名した藤井哲夫君が來て居る。その他にも兎角の評ある人々が参加してゐるといふ事を念頭に置かれたい……云々」全く彼等のやり方は傍若無人の振舞であつた。斯くまで露骨に亂舞するとは豫想しなかつたので他の委員はすつかり面喰ひたゞゞ呆然としてしまつた。

しかも彼等の積極的な攻撃の前に評議會の方針のなんと哀れにも無力であつたことよ。ひたすら謙讓と沈黙を守り、なりゆきを静観する外なかつたのである。

かくて會議はもろくも破壊され、根こそぎ打碎かれてしまつたのであつた。そしてほんの氣休めに「總聯合の結成に努力する」申合せだけが残つた。

経緯は教へる

會議が破壊された後、出席各團體に就て賛否の意見を質し合つた結果によれば、

(一) 組合會議を即時成立することの不可能な場合は準備協議會を設置すべしとするもの。

朝鮮労働、總聯合、日本農民組合、關西電気、組合聯合、大阪労働組合聯盟、大阪労働者組合、俳給者組合、自助會、關西労働組合聯盟、日本労働組合聯盟、評議會、京都、三重、岡山、九州各無産團體協議會及び大阪、神戸の組合會議。

(二) 公式の機關にかけてゐない等の理由で保留すると云ふ團體は、

向上會、煙草労働、製陶労働、横濱無産團體協議會、關東労働組合會議。

(三) 絶對保留——總同盟(勞新第二十六號)

右の如く絶對多數の賛成者があるにも拘らず、只一つ(只一つだ!) 總同盟が反對したことに依つて一切がブチ壊されたのである。總同盟の成功は偉大である。而もこれを歡喜する者は支配階級

である、正に西尾末廣君等は功一級に價する。

それに引かへ評議會は亦又失敗してしまつた。だがこの失敗によつて總同盟の指導者達が單なる日和見主義者でもなく官僚幹部でもなく今日では全く支配階級と同じ地位に立ち支配階級と共通の利害を持つてゐることを痛切に知つた。そこで従來の方針、妥協による戦線統一の考へ方が甚だしく誤りであることをハッキリ認識した。「妥協は駄目だ!」「遠慮したのではない!」

右翼と對立し彼等の真切行爲を暴露し、之と公然と闘争することのみが労働者階級を統一する事になるのだ!

評議會が敢然として先頭に立ち全體を指導するに非ざれば何事も出来はしない、と云ふ事を知つた。總聯合運動の失敗はこのことによつて意義があつた。

三、労働黨左翼の手に落つ

ダラ幹の進出

右翼は全國労働組合會議の妨害に成功した勢ひを以て頗る高壓的態度を以て進出した。

労働農民黨第二回中央委員會に於て僅かに一票の差であつたとは云へ黨の門戸を一般大衆に開放する決議が採用されたことは彼等にとつては不穩きはまる形勢であるから必死のデマゴギーを飛ば

して左翼を中傷し、中間派を威嚇した。そのための武器としては「社會民衆新聞」が新らしく發行された。又日本農民組合中のフダ付ダラ幹平野力三一派を援助し日農を分裂せしめ、之によつて組合の統一を亂し戦線の攪亂に努力した。

かゝる形勢の中に——七月廿六、七日——勞農黨第三回中央委員會が開かれた。

黨は當面左の如き任務を課せられてゐる。

- 一 黨の機關紙を發行すること。
 - 二 活潑なる全同的宣傳運動——ブルジョア政治の内面暴露による無産階級の政治的自覺の喚起。
 - 三 議會解散新選挙法による総選挙の請願運動。
 - 四 民衆黨、農民黨に對する闘争。
 - 五 地方的日常政治闘争に對する指導。
 - 六 各地に於ける支部組織運動の指導。
- ところが、中央委員會は、以上の問題に關して確固たる方針態度を決定し、かゝる運動を起すことによつて勞農大衆をブルジョアの政治支配に對する闘争に動員し、同時にこの闘争を通じて黨の組織を擴大しようとはせず、即ち資本家と政府に對しての闘争に就ては何等決定することなく、如何にして黨を不活潑にするか、非闘争的にするかといふことのみに腐心した。
- 總同盟は自己の援助によつて分裂せしめた平野一派の農民黨を、日本農民組合側委員より排撃す

る提案のあることを奇貨として、之に賛成するが如くよそほうて、その條件として、政黨問題當初よりの懸案であつた左翼三團體の排除を決議せしめた。黨の基礎が確立する、でといふ理由だ。もつとも左翼排除の決議に關しては反對意見が相當強かつたが、總同盟は、例の奥の手を出しその様なことを云ふなら自分が脱退する、といふ風に脅迫して押へつけたのであつた。各地に組織されてゐる支部には以上の三團體員が加盟してゐるといふ理由で承認せぬことになつてゐる。

かくて我國唯一の單一政黨勞農黨は今や全く反動幹部の手に指導權は渡されてしまひ、無産黨としての職分は放擲され、全くブルジョア左黨に轉換變質されてしまつた。

左翼の攻勢

このやうな状態に對して評議會は猛然駭起し、積極的攻撃を開始した。勞働新聞第三十八號には「反動幹部に蹂躪された勞農黨中央委員會、黨を勞農大衆の手に取り返せ!!」と見出しをつけた糾弾の論文を掲げ、引つゞき「共同戦線黨復活のために反動幹部と闘へ!! 右翼幹部の分裂政策に屈従するな!!」と煽動した。無産者新聞は筆を揃へて右翼を攻撃し一般勞農大衆の起ち上ることの必要を力説した。無新独自の宣傳力と評議會の組織力は素晴らしい勢を以て全國無産大衆を動かした。

農民組合山梨聯合會の脱退、東京市電自治會の分裂、三團體の黨よりの排除、組合會議の破壊等

等を例にあげ、右翼指導者の努力が常に組合分裂と協同戦線破壊にのみ向けられてゐる事實は全國津々浦々に知れ渡つた。

評議會はこの新らしき客觀的情勢と、本質的轉向に關し方針を確定するために八月廿八、九、三十日に互り大阪に於て中央委員會を開催した。

そこで最も重大な問題として勞農黨の三團體排斥問題の對策をねり、熱心な討議の後、

イ 聲明書の發表

ロ 三團體排斥反對運動を起す指令を出す事

ハ 勞農黨本部に對して支部承認運動を起す事並に支部組織に關する指令を出す事

等が決定された。聲明書は長文のものであつてパンフレットとして全國に配布した。

而して之等の運動發展のために出した指令の内容は、組合員は黨支部を組織して地方的日常闘争を活發に展開すること、本部の聲明に基き三團體排斥反對運動を起すこと、議會解散請願運動を積極的に支持すること。これ等の運動を徹底せしむるため各地方に大會を開くこと等であつた。

既に明かなる如く協同戦線の確立は右翼指導者と戦ひ、之を排除するに非ざれば結成出來ないことを認識してゐるのである。そして今や猛然と起ち上るのであつた。

議會解散請願運動

勞農黨指導部の無力と反動化に愛憎をつかしてゐた全國の勞農大衆は、評議會の質的轉向、右翼排撃の積極的行動開始により勇氣百倍した。支部は急激に組織され、地方自治體の選舉運動其他の活動が猛烈に起り、三團體排斥反對の聲明書、抗議文、詰問書は黨本部の机上に高く積み上げられた。新設支部より承認要求の聲は嵐の如く捲き起り各組合、團體の大會席上に於て熱烈な決議が行はれた。そしてつひに一度は右翼に壓倒せられた日本農民組合も十月二十日の大會では満場一致、三團體排斥反對の決議を通過するに至つた。

かうした氣運の中に議會解散請願運動は破竹の勢を以て展開した。

請願運動は「請願令」によるところの合法的運動であり我々の運動は「請願運動」そのものが有力な政治闘争である。此運動は評議會に於て提唱して居たのであるが八月上旬、京都地方無産團體協議會及び勞農黨京都支部の主唱により愈々具體化した。最初は耕作權確立、團結權罷業權の確立を以て活動を開始したがそれが議會解散請願運動に發展した。

京都の一角より捲起されたこの聲に全國の勞農大衆は一齊に應じて奮起した。黨本部に對して持つ不満は爆發したのである。

演説會は開かれ、檄文は飛んだ。無産者新聞は全力をあげてこの運動を支持し強力なアヂテーシ

ヨシを行つた。評議會はその先頭に立つて活動する。署名は各地に於て景氣よく集められた。此運動のかくの如き發展に伴ひ、運動の統一上九月十五日近畿地方支部協議會が大阪に於て開かれた。

出席委員二十四名、會議は農民組合の寺島君司會者となり議長に山本宣治氏を選定して開かれ熱心に審議した結果、

一 請願項目決定、請願書作製の件

イ 近來農村で頻發する土地立入禁止の假處分並に立毛差押へ處分を絶対に禁止し耕作權確立のために小作法を制定せられたし。

ロ 無産者團結權確立のため組合法を制定されたし。

ハ 憲法に保證されたる言論著作印行集會及び結社の自由を事實上確認されたし。

ニ 斯る一般無産大衆の要求を審議すべく舊選舉法による現議會はあまりに不適當であるから新選舉による新議會を審議されたく即時議會を解散せられたし。

右の請願項目を印刷して配布することに決定。

二 勞農黨中央委員會に對する要求。

「我等は既記の請願運動は、無産階級刻下の急務であると確信する故、勞農黨中央委員會が此運動を全國的に指導せられんことを切望す」と決議し、又三團體排斥反對の決議をも送附することにな

つた。

其他具體的運動方法が決定し實行委員會、聯絡委員會を組織し、事務所を定め、庶務係りに山本宣治、會計係りに河原君を擧げ、十月一日を「請願デー」と決定した。

かくてこの運動は近畿一圓の統一的運動となり全國に波及し白熱化せんとした。無産大衆の全國的政治活動は公然とその第一歩を踏み出したのである。

一方此運動と関連して地方自治體の運動は活潑に行はれ、選舉闘争に於ては日本最初の普選による市會議員選舉に於て有名な、彼の濱松市で無産階級公認候補者二名を當選せしめ、更に北海道に於ては、小樽、室蘭、釧路、旭川、札幌、函館に各一名の勞農黨支部公認候補者を立てた。この候補者中、實に五名までが評議會の幹部である。而も小樽に於ては北海道地方評議會委員長境一雄君が最高點で當選し函館、札幌、旭川に於ても當選し、落選した所でもこの選舉戦を利用して組合及び黨支部發展上優秀な成績を上げた。得票總數千四百八十四票、これを見ても黨中央委員の決定が如何に大衆の要望を無視してゐるか判然する。

××とダラ幹の妨害

勞育の對立は益々尖鋭化し、資本の攻勢は愈々急を告げてゐる。都市に於ける彈壓が決定的とな

りつ、ある一方農村に於ける壓迫が猛烈となつた。日本農民組合は九月廿八日を期して立入禁止反對其他のスローガンをか、けて全國一齊に示威運動を執行する計畫を立てた。ところが二十七日未明突如、××××××××、大阪だけでも百七十名、全國では約千名にわたる多數幹部が留置場の中へ投げ込まれた、而もこの中には評議會、青年同盟の闘士も捲添へを喰つてゐるではないか。

××の説明によれば「近時農民組合は評議會、青年同盟等と接近し、その進言を入れた」等、と云ふのだ。勿論同じ無産階級同志間に於て相互援助することは當然なことだ。而も兩者を離間せんとし分裂を企てんとしていやがらせを行ふのである。今や吾が無産階級運動は從來の偏狹な部分的組合主義的闘争へ急速に進展しなければならぬのである。

かゝる時、總同盟は何をもくろんでゐるか？ いふまでもなく分裂策動一天張りである、彼等の大會——十月三日から三日間——に於ける勞農黨に對する態度は三團體排撃支持、又その會員の加盟してゐる支部の不承認である。青年訓練所に對しては、反對は反對でも左翼とは反對理由が違ふと一生懸命になつて「現實振り」を發揮せんとし、最も重大な總聯合問題に關しては、「我國勞働組合の全國的結成は急務であるが、此理想を達成するためには、指導精神と運動方針に於て大體傾向を同じくする友誼團體とのみ結成をはかる」といふのだ。各地のストライキ破りを勇敢にやつてのけた幹部は濱松、北海道等に於ける評議會の選舉運動成功により左翼排除が無意義であり反階級的

であると悟るべきであるにその事もなく益々右傾し得るとして右翼聯合をもくろんでゐるのだ。勞働組合法に關しては、「勞働組合の組織活動の自由」ではなく、「今日の日本の組合狀勢に適應した——大體内務省社會局案を少しく改正したやうなもの」といふのだ。これは勞働者の要求ではなく實に資本家の希望に「適應した」ものといふことではないか。

請願運動が全國的に波及し白熱化するについて彼等が「そら共產黨の陰謀だッ！」と大騒ぎしたことは云ふまでもあるまい。

ところが、これに驚いたのは總同盟だけではなく實に勞農黨本部だつた。

即ち本部は三輪書記長の名を以て請願運動中止の命令を全國に送つた。その警告の内容は、「黨支部が黨と未だ何等の交渉もない支部準備會等と共に運動を決議實行してはいけない。請願運動全國協議會の提唱者側各黨支部は速かに右運動を中止する手續を取られたし。黨支部は右の如き請願運動協議會の提唱に應じてはならぬ」と云ふのである。そしてその理由は「本部の態度が確定せぬ先に右の運動を起すことは、本部の統制を紊すものである」

本部が看板だけを守り、支部の承認もせず、活動もせず、何もしないから辛抱しきれなくなつた大衆が運動を始めるやうになつたことは、理解しようとはしないのだ。かうした本部の一片の威嚇的な警告や命令に對して恐れる者は一人だつてありはしない。大衆の底力ある大運動は満潮の様な

勢ひでゲン／＼、發展擴大し全國的統一のため協議會を開くに至つた。

請願運動全國協議會

黨本部書記長の威嚇的警告も勞働者農民大衆の切實な要求の前には何の効果もなかつた。

即ち大衆の欲してゐるものは、政治的無活動と、共產主義の定義に浮身をやつしてゐる黨ではなく活潑な活動である。

近畿地方協議會は、この運動を本部が指導する様に切望したがそれが入れられないので十月七日第二回の會合を開き、打合せの結果愈々十月十九日全國協議會を大阪に於て開くことにした。この時分には請願運動に参加し實行してゐる所は殆んど全國に亘り、北は北海道から南は九州まで伸びてゐたのだ。反對してゐるところは僅かに總同盟と官業勞働によつて組織されてゐる北大阪支部、西淀川區支部、此花區支部、東京城北支部位なものであつた。

近畿協議會の勸誘狀に接した地方實行團體は双手を舉げて賛成した。

かくて當日大阪九條市民殿に參集した者は日本農民組合を始め、評議會、水平社、青年同盟、勞働黨支部、支部組織準備會、地方實行委員會及び其他の單獨組合等四十團體、その代表者六十名であつた。集まつた數は決して多くはないが爭議繼續中等の理由で已むを得ず缺席したが是に賛成し

參加する十八團體からは祝辭電報、激動電報が續々と寄せられた。この會合は全国各地の代表を網羅するもので眞に名實伴ふ「全國協議會」である。

山本宣治氏議長席につき閉會し河合君の経過報告があつた。

「此熱烈なる運動に對し何故黨中央委員會がこれをサボタージュするか、これ即ち黨中央委員會に潛入してゐるブルジョア代理人の強要に基くものである。黨が三團體を除外してゐること。假に門戸を開放しても無産團體の組織上に於ける協同が必要であること。過去の經驗に徴しても現在の反動幹部の多數を占めてゐる中央委員會にのみ、此運動を任せて置けば積極的にはやらないから「全國協議會」の設置が必要である。」

と満場、致可決し、この委員長には當初より中心になつて活動し當時も議長をしてゐた山本宣治氏があけられた。

そして會議は近く開かれる勞働黨中央委員會に對し左の要求書を提出することを決定した。

- 一 門戸を開放し、黨をして眞に階級的單一政黨たらしむること。
- 二 既設の各支部を無條件に即時承認すること。
- 三 農民黨及び民衆黨排撃の行動を徹底的に開始すること。
- 四 全國大會を十一月中旬に開催すること。

かくて請願運動は全國的組織を持ち、それ自體は左翼の一カンパニアであるが、實質的には完全な單一政黨になつたのである。勞農黨はその看板と一握の社會民主主義者がゐるのみである。

黨本部が請願運動に屈服するか、それとも飽くまで頭だけの「黨」として看板を守るか。

請願運動協議會は、そのまゝ、何時でも黨になり得る實質を持つて次の第四回中央委員會の態度に備へたのである。

勞農黨奪還

黨第四回中央委員會は、戰國的勞農大家の注視のうちに十月二十五、六兩日、東京協調會館に於て開かれた。

出席委員は杉山委員長、三輪書記長はじめ、須永、莊原、森、鳥井、鶴、前川（日本農民）阪本（製陶）井上（司厨）渡邊（官業）坂本、坪井（總聯合）佐々木、高橋（自治會）西尾、齋藤、松岡、麻生（總同盟）安部、賀川の諸氏。

杉山委員長の挨拶について三輪書記長の會務報告中、總同盟、自治會、聯合會等が當然負擔すべき黨費をいまだに納入してゐないことが端なくも暴露した。漸く報告が終り愈々「門戸閉鎖」の討論に移らんとする時、自治會、總聯合、司厨同盟の各委員が先づ退場を聲明して退き、ついで官

業及び總同盟、安部賀川が順次脱退を聲明し最後に三輪書記長が辭任を申出でスゴクと引揚けた。請願運動の全國化と全國協議會の設置、水平社勞農黨支持聯盟の成立、農民組合大會に於ける門戸解放の決議、等々斯の如き形成は、從來黨の内部に在つて黨の活動を阻害し攪亂にのみ腐心した右翼幹部の努力を放擲せしめたのである。現實に於て鬭争してゐる大衆から見離され、浮上つた指導者の行くべき道は自ら脱落することによつて黨を少しでも混亂さすことがブルジョアジーにXXを示す只一つの手段だつた。

又中間派はその本來の消極的立場からして分離の道を選んだのだ。

残留した製陶、農民の委員は會議を一時中止せざるを得なかつた。そして黨の陣容立直しのために根本的方針が協議され、水平社勞農黨支持聯盟を正式に加盟させ、其方より四名の中央委員を補缺し其他の方面よりもすいせんして各専門部長を定め、大山郁夫氏を委員長に細迫兼光氏を書記長に、そして門戸解放に就ては聲明書を發表し、支部承認問題は委員長、書記長が調査することに一任。又三團體排斥反對運動に關しては、來るべき大會、（それは十二月十日前後の豫定）に於て公然の討議に付すること、なり、議會解散請願運動に關しては、黨、農民組合、全國協議會とが協力し大活動をすることに決定した。

中央委員脱退に關する聲明書は曰く、

「——なほ大局より見るならばこれ等の團體によつて組織されたる支部は現在届出支部の一割にもたらず——」云々。即ち右翼幹部の裏切的脱退によつて黨の基礎は微動だもしないのみならず、失つたものは、じやまものばかりであつて、而も獲得したものは黨の完全なる階級性と活潑なる闘争であつた。労働農民黨は左翼の手に再び奪還した。労働農民黨の誕生により全國の戰闘的労働大衆は歡呼の聲をあけた、かくて労働農民黨は潑刺たる生氣を以て力強い第一歩を堂々と踏み出すのであつた。

四、脱退派の行衛

社會民衆黨生る

労働農民黨を脱退した右翼、中間派は何處へ行つたか？

先づ右翼總同盟は、その筋書き通りに進んだ、即ちさきには排斥した日本農民黨——日本農民組合を脱退した平野一派の農民同盟——と提携することを正式に表明し、次いで安部磯雄、堀江歸一、吉野作造三氏を中心とし、ブルジョア經濟學者、ブルジョア小説家、獨立労働協會、等々の連中と合流して社會民衆黨組織計畫を促進した。この計畫は従前より企てられてゐたもので分裂前より内約があつたのである。

總同盟中央委員會——十一月四、五日開催——は満場一致を以て、この新政黨を支持協力するこ

とを決議し、同時に地方的事情によつては本部政治部の了解の下に「地方的政黨」を建設してよいことにもした。即ち高砂工友會、足尾聯合會がそれである。

かくて右翼は、も早全國的、労働大衆の立場を離れ、自らの生存を小ブルジョア階級の中に見出したのだ。すなはち小役人、小商人、俸給生活者、官業被傭人、並に農村小ブルジョア等所謂「労働階級」が彼等の立つ地盤となつたのである。かれらにとつてはそこには約一千萬票の新有権者カクトクの夢があつた。

それでは中間派はどうしたか？

中間派は本來の消極的態度の故に、右翼と行動をともしなし得ない。彼等は同じ中間派仲間で政治部連絡委員會を作り、その組合主義的本質を明確にした。

日本労働黨の出現

總同盟、海員組合、官業労働、工人俱樂部等々の幹部連中が、十一月二十日東京協調會館に集合し、右翼政黨創立相談會を開き、愈々十二月五日、社會民衆黨の結黨式をはなばなく舉行しようとしてゐる眞最中のことだ。

突如？ 「日本労働黨樹立」の趣意書が公表せられた。中心人物は麻生久、藤岡文六、三宅正一、

淺沼稻次郎等の諸君である。

この實に「突如」として持上つた問題は社民黨組織に熱中してゐた右翼幹部を驚かした。それを文字通りビツクリ仰天、周章狼狽である、殊に足元から鳥がたつた如くに感じたのは總同盟のお歴々である。

總同盟中央委員會に於て社民黨支持に異議なく賛成し、麻生の如きは鈴木會長同伴にて吉野博士を自邸に訪問し、同氏の驟起を促しなどしておきながら今更になつて「總同盟はあまり右傾しすぎたからいけない」と云ふのではやり切れない。

總同盟は第一回の分裂——評議會創立——の時、數的勢力を半減したのであるが此度の分裂で又又大打撃を受けることとなり、除名だ、復歸せよだ、聲明だ、とビラ合戦を現出した。

双方の言分を今詳細に調べてはゐられないが、要するに彼等が勞農黨を脱退したのは、大衆の意志ではなかつた。一部少數の幹部だけの意志を以て勞農黨から脱退したのであつて一般組合員大衆は飽くまで單一政黨に賛成でありその確立を希望してゐる、だから幹部が獨斷で勞農黨を脱退した時、早くも「脱退反對」の聲が起り反對運動の萌芽が見えた。

それを幹部は例によつて「共產黨の逆宣傳」だとか、ほんの少數の者の策動に過ぎない、といつて打消してゐた。ところが幹部が益々意識化し反動化して小ブル政黨組織が進行するにつれ組合員

大衆の中に反幹部熱が昂まつて來た、それに刺戟された所謂中間派麻生一派は立ち上つた。彼等は松岡、赤松、西尾一派の如く露骨にその正體を大衆の前にバクロするのはいやだし、中間的な「日本勞農黨」を樹立することになつたのだ。これは大衆が當然の結果として、左翼の指導下にまで來るものをその途中に於て引き止めたものである。

勞農黨に對立するところの日勞黨を作つたこの一派は同時に左翼労働組合に對する日本労働組合同盟をも結成した。

一方日本農民組合中の日和見主義幹部が之に参加したのであつた。彼等は先きに平野一派が同組合を脱退した時には流石にこれとは行動をともしなし得なかつたけれども其後農民組合が漸次左傾し戰闘的態度を強くする勢に恐怖し、一部農民をゴマ化して、それを引きつれて逃げ出し、全日本農民同盟なるものを組織した。

勞農黨脱退組の道行は次の如き順序を辿つて進行してゐる。

- 一 十一月四、五日總同盟中央委員會に於て社會民衆黨支持協力の決議。
- 一 十一月廿二日神田日芳館に於て麻生、藤岡、吉田（賢一）淺沼、三宅、三輪、會合、日勞黨樹立の相談。
- 一 十一月廿三日、日本勞農黨發起委員會開催同時に趣意書發表。
- 一 十二月三日、總同盟中央委員會、麻生以下十三名除名處分。

- 一 十二月五日、社会民衆結黨大會。
 - 一 十二月八日、労働組合連合、司厨同盟、製陶労働同盟、日労働黨に参加す。
 - 一 十二月九日、日本労働黨結黨大會。
 - 一 十二月十一日、労働黨より日労働黨に合同を提議し日労働黨は之を拒絶す。
- 大體は右の如くであつて無産階級團體の陣營は、左翼労働黨、右翼社民黨、中間日労働黨との三派に分裂し、結局落着くところへそれらの姿を決定したのである。

第八章 統一運動同盟の成立

一、労働黨に對する評議會の方針

資金を集め活動を起せ

政黨問題は三派三様の政黨建設によつて表面的には一先づ落着いた。だがこの分裂的對立状態が労働大衆の意志でないことは明である。けれども兎に角も、これで一時的、表面的には落着いたと言へる。

労働黨は、党内より「不安」な分子を一掃した後のスガ／＼しい気持ちで元氣よく活動を開始した。評議會はこの變化した形勢に應ずるため次の如き政策を採つた。

労働黨に對する方針

- 一 既存支部が即時正規の手つとぎをとつて承認を求めること。支部準備會は、急速に支部を組織し承認を求めること。
- 一 三團體排斥問題は、「團體に關係することなく個人の傾向を檢するものとし」云々の聲明に基き之を主

張すること。蓋し黨は個人單位の組織であるからその積りて行く。
 勞農黨支持に關しては

- (イ) 支持の聲明を支部、支部準備會を通じて一般無産團體に送附すること。
- (ロ) 黨支部の組織問題、擴張運動及び政治的活動を活潑にし、同時に黨の寄附金、資金募集を一般に積極化すること。
- (ハ) 黨の統制には、それが全無産階級的利害を代表する問題である限りは、絶対に服従しなければならぬと同時に、黨本部と密接な連絡をとること。

ダラ政黨の發達を抑へよ

右翼政黨に對する方針

- (イ) 總同盟其他の右翼幹部の階級的裏切を暴露し、之を排撃する爲めに政治的組織的闘争によつて、農大衆に徹底せしめ、右翼政黨の發達を極力妨害すること。
 - (ロ) 單獨農民組合の存在する地方は、日本農民黨の侵蝕を防止するため、勞農黨組織の協力は勿論、之を日本農民組合へ加盟するやう極力勧誘すること。
 - (ハ) 中間派、右翼内の大衆を勉めて獲得すること。
- 等、以上の態度を以つて進み、次いで黨大會が迫ると共に黨支部、府縣聯合會に加入してゐる評

議會員に對しては左の方針をとらした。

- 一 勞農黨支持の決議。
 - 一 社會民衆黨、日本農民黨其他地方小アソシエーション選挙黨の徹底的排撃。
 - 一 中間黨「日本勞農黨」反對。
- 日本勞農黨との合同案に關しては、
- (イ) 既設支部の無條件承認。
 - (ロ) 社民黨、日農黨その他地方政黨の徹底的排撃。
 - (ハ) 請願運動の積極的指導。

合同問題に關しては門戸解放には觸れぬことにした。其他、地方政治戦線の擴大、總選挙對策、

議會對策に關する問題及、其他の提出議案には適宜考慮することにした。

斯くて十二月十二日東京芝協同會館に於て開かれた勞農黨第一回全國大會に當つて見ざる盛會裡に吾々の要求は殆んど全部貫徹した。

二、統一運動同盟結成す

統一運動の經過

大阪組合會議の主唱にかゝる全國勞農組合會議が總同盟幹部の妨害により破壊された事は既に述べたところである。

その前後に於て右翼は聯盟の計畫を立てた。そして九月二十日、共濟組合對策のために官業勞働組合協議會が舞鶴に於て開催せられた機會を利用し右翼指導者の懇談會を開いてその結成をはかつた。だが皮肉にも右翼は階級的觀念よりも組合利己心が強く、折角赤松、松岡の努力があつたにも拘らず失敗に歸した。

その次は「中間派結成」の問題である。勞農黨第三回中央委員會が勇敢にも左翼三團體排除を決議するや、右翼に對する非難及び反感が高まつた。かゝる狀勢の下に雜誌「大衆」の提唱によつて問題となつたのであつて、この提唱は、右翼指導者の影響を中間派組合から切りはなす爲めに中央派組合と左翼組合と結合せよ、と云ふのである。

これは右翼を排除するが同時に左翼陣營中の活動分子を「最左翼」と稱して遠慮せよ、と云ふのである。右翼派の行動が支配階級の分裂政策のわなに陥つたと同じ様に此の中間左翼結成問題はこれ又同じ様に分裂策であつた。而も在來の黨組織運動其他共同戰線の問題に對して中間派の占めた役割は、左翼の成長した今日もはやさほどの重要性はなくなつてゐるのである。随つてこの中間派左翼結成はそれ自體としては成功しなかつた。

大阪で結成大會開かる

我評議會は、この運動に對して巧に之を利用し、單なる中間派結成にとゞめず、評議會所屬組合をも含めた統一運動同盟に發展させんと根強く運動をけいぞくした。そしてそれが具體的に表面化して十月十日勞農組合統一同盟關東地方準備會がまづ結成の第一聲をあけた。ついで大阪、名古屋、神戸、京都、九州、東北等々ぞく／＼として地方同盟が成立した。

そして十四日に至り、大阪に於て關東同盟、中部地方同盟、大阪地方同盟の代表者會議が持たれた。この協議會に依つて全國的連絡を緊密にすることになり、全國的組織の準備會が設置された。

萬般の手筈を決めた準備會は、急速に發展するこの運動を統一するために十二月十三日（勞農黨大會の翌日、同一會場に於て）「統一運動全國同盟」の創立大會を舉行し、宣言の發表、規約、役員の設定、運動方針確立等を審議決定した。こゝで、小ブル黨排撃、日勞黨反對、議會解散請願運動支持、惡法反對、被保險者同盟組織促進、學聯事件對策、雜誌「勞働者」を機關紙とすること等が可決され「我國勞資對立闘争の發展段階に於ける任務として、經濟闘争を全無産階級的闘争に轉換する」といつた様な「福本イズム」の聲がこゝに初めて登場して來た。

常任委員長大道、その下に唐澤、小野、兼島、西村、秋和、日下部、小宅の諸君が挙げられた。こゝに戰闘的勞働團體の合同の形は成しとけられた。統一同盟は勞働農民黨の活動を支持應援す

一般的運動の要約

評議會闘争記は、こゝでその第二年目を終るのであるが、顧みればこの年（一九二六年）は、評議會にとつてまことにあはたゞしい一年間であつた。

この一年間は評議會自身にとつて多忙であつたばかりでは無く、實に我國無産階級運動史上、特筆大書すべき事件の續出した年でもあつた。既に見たやうに全體的な問題としては、

一、惡法反對示威運動の敢行

この運動は、各地方の地方的共同戦線組織、即ち地方組合會議又は地方無産團體協議會が運動の主體となり、全国的にして而も完全なる連絡の下に行はれたところに意義があり、長足の進歩があつた。

二、無産政黨問題に就ては

第一次農民労働黨禁止處分に反抗して直ちに第二次政黨組織運動を起し、僅々三ヶ月後には早くも労働農民黨を樹立した。

三、全國總聯合問題

全國的示威運動の劃時代的成功、竝に政黨樹立、其他の客觀的狀勢から見て、我國無産階級運動界に多年の懸案となつてゐる「全國労働總聯合結成」の好機來れり、となし大阪組合會議は、先づそ

の前提として「全國労働組合會議」を提唱した。この企ては各僚友團體の熱烈なる支持賛成を得て、つひに代表者會議を開催するに至つた。

労働大衆の絶大なる期待と、破れんばかりの歡呼のうちに「總聯合」結成の第一歩に入らんとする瞬間、總同盟幹部の妨害によつてこの計畫は根こそぎ破壊されてしまつた。

四、右翼結成計畫

全國労働總聯合結成を見事破壊し去つた總同盟指導者は、一方に於て官業労働團體を中心として大右翼結成を計畫した。同時に階級的單一政黨たる労働農民黨より、最も戰闘的なる左翼三團體排斥運動に狂奔した。

五、三團體排斥問題

右翼の威嚇と必死的攻勢の前に黨中央委員會は曳ずられてその第三回中央委員會に於ては所謂左翼排除の決議をしてしまつた。

六、左翼の進出

日常政治闘争の機關として生れた労働農民黨が創立以來七ヶ月に互り活動した成績は、實に「左翼排除」の一點である。かくの如き黨本部の無力と反動化に對し労働大衆は承知するわけではない。右翼指導者は、も早單なる日和見主義ではない。官僚幹部と云つたゞけでは足りない。彼等は今日

全く意識化した。彼等の行動は、彼等の政策は、ことごとく支配階級の利害と一致し共通してゐる。左翼は、右翼派の行動を批判すると共に自己批判を行ひ、消極的態度より積極的攻勢——右翼排撃——に出た。方向轉換した左翼は右翼排撃こそは當面緊要なる任務なりとし、又これなくして黨の反動化を防ぐ道なしと奮起した。

七、議會解散請願運動

左翼が火の如き熱意を以て積極的行動を開始したことは、おくれたる労働者農民大衆の勇氣を百倍した。黨本部の反動化と無活動に對する抗議の運動はやがて、「請願運動」の形を以て進み、破竹の勢を以て全國津々浦々に擴大發展した。

——黨の門戸を解放せよ！——

——三團體排斥反對！——

勞農大衆の嵐の如き叫びの中に黨第四回中央委員會は開かれた。

八、右翼中間派の脱退

勞農大衆のすさまじい要求に答へるべく開かれた黨第四回中央委員會は、その劈頭に於て中間派及び右翼の脱退によりアツクなく終つた。積極的攻勢に出た強力な左翼の前に彼等とも早ほどこす術がなかつたのである。

九、分裂問題

中間派、右翼の脱退(分裂)によつて勞農黨は微動だもしなかつた。甦生した勞農黨が潑刺たる活動を開始しかけた頃右翼總同盟は分裂した。

組合員大衆の意志を無視した指導者の反動化に對する抗議運動——勞農黨脱退反對運動——の聲に追従した中間派は、社會民衆黨に反對して日本勞農黨を組織した。

かくて總同盟は第二次大分裂をとけたのであるが、この年は總同盟以外にも頻々として分裂問題が起つた。日本農民組合、製陶勞働同盟、東京市電自治會にそれごとく分裂が起り、又海員組合内に刷新同盟が組織された。

一〇、混亂の中に統一的傾向が見える

以上見たやうにこの年の運動界は波亂曲折を重ね分裂に分裂を見て、つひに年末に至り左翼、中間、右翼とそれごとく分野がハッキリ定まつた。かうした分裂の中に於てたへず統一的な企てが行はれたことは一つの傾向である。殊に「中間派左翼」結成がかなり大問題になつたことも見逃し出来ないことであらう。この計畫は失敗に終つたのであるが、左翼はこの過程に於てその機會を巧妙に利用し、全國統一運動同盟を組織した。

山川イズムを以て正しい指導理論としてゐた評議會が、政黨組織運動の過程に於て全く行詰り、苦悶してゐる時分に、これに對する批判が×××インテリゲンチヤの中からはれ始めた。そしてこの批判の代表者が福本和夫氏である。「福本イズム」は實に彼の「イズム」から生れた言葉であり、今日では歴史的な意義を持つてゐる。

福本氏が雑誌「マルクス主義」に初めて寄稿したのは大正十三年十二月號(第一卷第八號)であつた。以後同氏の進出振りは素晴らしいもので「山川イズム」を綿密に分析批判し「山川氏の理論は組合主義(經濟的運動)と社會主義(政治的運動)を折衷した理論である」と眞向から切り込んだ。

「野田君、私は福本君にスツカリ折衷主義者にしてしまはれましたよ」と山川氏が筆者に語つたのは評議會第二回全國大會の時だから一九二六年四月には、もはや山川イズムは福本イズムのために追撃をうけつゝあつたのである。

福本氏はかやうに、これ迄事物化された一切の理論を批判究明し理論闘争を通じてそこから分離し、階級的主体を結成するための「全無産階級的政治行動の理論」を結合しなければならぬといつた。これが有名な分離結合論である。

福本氏のこの主張は山川イズムに勝る一つのすぐれた點があつた。それは×××の確立を強調した點である。ところが、福本氏の強調した×××とは「意識の完成者」のみの團體であるといつたが、

その實このことはマルクス主義者ではない福本イストの宗派的グループを以て×××なりとするところの宗派主義的見解であつた。

そしてマルクス主義の道を歩んでゐるのではないところの福本イズムの生んだ×××は(大正十五年)に若干の×××分子によつて×××された)そのまゝでは自然とマルクス主義×××××の圏外に生れたものとして存在する結果となつた。もう一つ黨を宗派的グループにしてしまふことによつて、その外廓に大衆的共同戦線黨を、福本イズムは必要とした。そして勞農黨に働きかけて、勞農黨に×××の役割を代行させることによりプロレタリア黨の獨自的活動を抛棄した。新たな解黨主義である。

次に福本主義の誤りは「意識の完成」(是が又たいして意味のある言葉だとは筆者は思はない)のために分離結合の理論闘争を大いにやれといふ任務を勞働組合や農民組合の成員に對して課した。即ち黨と組合を觀念的にごつちやにすることによつて、最も悪い結果を勞働組合運動に與へた。

更に福本イズムは「意識の完成」のために事物化された理論を究明すると稱して社民黨を「經驗的現實主義」日勞黨を「追隨主義的組合主義」と々々名をつけ、我國無産階級運動の過去に於て經驗した一切の分裂を「必然」なものとし更にそれは「辨證法的發展」であるとさへ合理化した。總同盟の分裂を「組合大衆が組合主義から分離し全無産階級政治闘争主義を受け入れる準備をしたものだ」等

と云ふのは福本イズムのお筆先的託宣性をよく現はしてゐる。

福本イズムのかような理論闘争は、客觀的狀勢に對するプロレタリア的分析批判ではなく對立理論を觀念的に「批判究明」し「排撃」するだけでそこからは結局何も生れて來はしなかつた。否生れて來た。それは組合運動の困難化が生れて來た。

福本イズムと評議會

評議會指導部が「福本イズム」を一も二もなく(充分に批判もせず)とり入れたことは、山川イズムの指導理論、戰術によつて行詰りを生じ苦悶してゐる時、その山川イズムを痛烈に批判してゐる様を見たゞけで共鳴したためであつたが、要するに客觀的にみれば日本の労働階級はまだよく成長してゐなかつたのである。

とにかく福本イズムの新たなる害毒はうけたが山川イズムの無氣力性を清算することによつて、評議會は活潑になつた。

労働黨第三回中央委員會が左翼三團體排除の決議をするや、之に反對する労働黨の叫びは猛烈として捲起つた。この機會をとらへて議會解散請願運動を展開し、評議會がその先頭に立つて右翼指導者を蹴散らし、労働黨を左翼の手に奪還したことはその一例である。

だがその一方において評議會は福本イズムの命令により「意識完成」のために「理論闘争」をやらねばならなかつた。評議會は大衆團體である、毎日／＼工場で汗水流して働いてゐる労働者の結合だ。さような連中が俄かに理論闘争の生活を理解することは到底厄介な問題であつた。それどころか、指導部の中に於てさへ容易ならぬ大仕事であつた。活動的な闘士の中には、例の「目まぐるしくもあはたゞしく」過程を過程する」といつたやうな文句を聞いたゞけでウンザリする者もある位だつた。此時代に於ては、研究會、座談會、讀書會等の集會が非常に主要なものとなり、同時に知識分子が尊敬された。そこで、理論論争に参加せず、組合の實務をコツ／＼とつてゐる連中は、三文の價値もない哀れなものとして輕蔑されるようになってしまつた。

斯の如き傾向は、やがて大衆團體にとつて××××××、即ち労働組合の基本的闘争——日常經濟闘争——が「經濟的闘争」として輕視され、労働争議の先頭に立つて奪回する活動分子を「ストライキマン」と冷笑するに至つた。

此時分には色々のエピソードがある。今代表的な例をあけるならば、山本懸藏君が、沼津市から代議士の補缺選挙に立候補した時、この時は、制限選挙時代だから當選の可能性は絶対にならないだ「無産黨候補者」といふのが一般市民の注意を集めて、第一回演説會の時は入場料を徴集したにも拘らず立錐の餘地なき盛會をきはめた、ところが出る辯士も出る辯士も福本イズム「理論闘争」を

引っぱり出して、「今や資本主義は没落の過程を過程しつ、……」を盛にやつた。これには沼津市民がスツカリ面喰つた、何が何だかさっぱり判らず、そのために第二回目の演説會には寄りつく者が無くなつた。かうしたことは他の場合でも同じことで支部の定期集會へ派遣された講師もこの調子で得意氣にまくし立てるのだからやり切れぬ。

評議會が困つたのはこの様なことばかりではない。労農黨が完全に福本イズムをとり入れるまでは、前衛の政策をすべて評議會へ持ち込まれた。そのために本部の指令が地方の組合に充分理解されぬことが毎度のことで全體の活動がおびたゞしく阻害された。

尙ほ、評議會自身が×××の如くになつて、組合員に××の規律を要求し、「意識の完成」に努力せぬ者、これに服従せぬ者を排斥するやうな傾向さへ生じて來た。

要するに評議會は福本イズムによつて潑刺たる生氣に返へると同時に多くの結滯窒息を惹き起したのだ。

福本イズムは無産者新聞にもくひこんだ。評議會はその主張を支持し實踐化した。そのためにも随分苦痛を受けたのであるが、兎に角この年に於て、評議會は、有力なる指導者、三田村、渡政、鍋山の諸君を××に送り、それ等の指導をうけつ、實に憔悴たる苦心をしつ、混亂の中に「意識の完成」とやらのために努力をつゞけるのであつた。

福本イズムの前衛は、労農黨の一角に「×××」といふ×××××を確立し、それによつて活躍の本舞臺に登場した。即ち×××の獨自性を労農黨の活動中に×××するところの活動を起すに至つて、評議會へはもうあまりむづかしい指令を發しなくなり、そのために、評議會は非常に仕事がやりよくなつて、ホツとした。

この時労農黨×××にこもつたインテリ黨員諸君がその後の×××批判の前にひらけたマルクス主義への道へ進出しえず、多く解黨派に走つたことを思へば、ホツとした時の心持にいささか、心當りがあるわけだ。

第九章 健康保険法爭議の發展

一、全國的闘争の指導

資本家は機を見てゐた

評議會の闘争はかくしてこゝに一九二七年を迎えた。そしてこの一月一日は労働者にとって記念すべき日であつた。何故なればこの日から、×××の新たな××の合理化である健康保険法が強制的に實施されるのだから。

之に對抗する闘争は評議會指導の下に全国各地に於て今や白熱化してゐた。年改つて、闘争いよいよ激甚。評議會本部はこの戦ひにおいて××會議戰術を有効に展開してゐた。

今この健康保險法反對闘争をひとまとめにして物語らう。

この法の骨子は内務省社會局で出来たもので、同局參與會議で貴族院の反動的意見が加味せられ、その上に内務大臣が多數の資本家、實業家を集めて組織した「労働保險調査會」で徹底的に××されたものである事なんか云ふまでもない。

だがさうした健康保險法は、それ以前に何時、何處で生れたかを見るならば、これは彼の國際労働會議で生れたものなのである。國際労働會議の本質が資本家の聯合國であることはこの一事からでも多く説明の必要なしに判るであらう。

この法案は同會議に於て外國の資本家につゝかれて考案され、大正十一年四月、はじめて公布された。政府はこの法律を先づ公布だけしておいてズル／＼ベツタリに四年間延ばしておいた。此間に於て、この法律實施に反對する××、労働組合の情勢を見てゐたが、組合の中にも頗る妥協的な右翼的部分が発生し、しかもその指導者達の間では労働者の生活を擁護するための共済的施設に關して所謂「勞、資、政府三分」説を樹立するに至つた。即ち労働者、資本家、政府の三者が各々等分に負擔を分配し合つて労働者保險を作れ、と云ふのだ。

斯様な形勢を見た政府は時機來れりとして愈々昭和二年一月一日より實施の腹をきめた。で、要するにこの「法律」はゼネバ會議で生れ、右翼派組合指導者が實施期を促進し、その目的は資本家の負擔を××××××し、かつ労働組合運動を××するところにあつたのである。そして「健康保險法」制定實施にあらはれた資本家のかゝる攻撃は大正九年以來、顛落的に深まり發展する日本資本主義の××を、遮二無二切りぬけようとするかれらの努力の一つに外ならなかつた。

健康保険組合は昭和二年一月一日より成立し效力の發生となるのだからこれを有利にするために、前記の統一的要求を飽くまで主張し、更に従前の共済組合を存続し掛金は資本家の全額負擔とする。要するに現行法に於ける最大限度の要求を以て闘争する事とし、實行方法としては、

- (イ) 資本家が保険組合組織のために捺印及び署名を求めた場合は、個々の労働者にそれを××せしめ、被保険者の意志を纏めて協議する事を申込ませること。
 - (ロ) 三百人以上の工場に於ては保険組合組織を資本家に要求すること。
 - (ハ) 三百人以下の工場に於ては三百人以上に互つて地域的又は産業的に協同して資本家に要求すること。
 - (ニ) この闘争中は労働者大會又は總會を開き被保険者工場同盟を××し、政治的意識を浸透すること。
 - (ホ) 同一工場内に二團體以上ある場合は被保険者工場同盟と同時に工場委員会運動を起すこと。
 - (ヘ) 組合合議員は出来る限り所屬組合員より選出するやう努力すること。
- (以上、評議會本部が十一月月上旬加盟組合に發した指令による)

評議會は、この問題に於て被保険者になる工場労働者自身に闘争組織をもたせ、これをその中に導入つて指導しつゝ、右翼指導者の非階級性を暴露し、大衆より切り離し、更にこの組織を健康問題のみを取扱ふ様な固定したのではなく運動の發展過程に於て左翼組合又は労働黨に獲得すると共に進んでこの組織自體をも一般的政治闘争の××にまで發展せしめんとしたものである。

闘争は發展す

評議會が健康保険問題をひつさけて闘争の先頭に立つて戦ひ始めるや、文字通り全国的に闘争が激發した。何故なれば、丁度この「法律」の制定された大正十一年以來資本階級は工場の縮少、閉鎖、賃下げ、減首、労働強化等を以て進行する經濟恐慌を防ぎ止め、又は切り抜けんとなせり。そのために労働者の生活は極度に悪化してきて、その不平不満は労働階級の全面的闘争の力に轉化せんとしてゐた時期だつたからである。

先づこの問題でストライキの火蓋を切つたのは神奈川県鶴見の日本鑄造會社であつた。この従業員約二百五十名は、殆んど全部が舊關東金屬労働組合に所屬し、工場内には數回にわたる果敢な闘争を経験した強力な分會があつた。闘争心の旺盛なこの分會の同志達は健康問題が起るや率先して、

- 一 保険料の資本家政府全額負擔
- 二 保険給付の増額及び給付範圍の擴大
- 三 保険組合の労働者管理

の要求を會社に突きつけた。これが評議會本部の發した指令が具體化されたそもぐの第一歩である。

要求は全國工場労働者共通の大問題である。そのトップを切つたのが左翼組合中でも最も勇敢な關東金屬労働組合の日本鑄造分會である。この事件の進行こそは鶴見、神奈川、川崎方面全般の大工場地帯に於ける大きな影響を持つものであるばかりでなく全日本的な勝敗を決する第一戦であつた。鑄造分會はその資格に於て先頭を切るに價する、而も全従業員は決死の覺悟をもつて立つたのだ。だが資本家側も全資本金階級を代表して彼等仲間の利益を死守する決意と責任をもつて應戦に立上つた。

即ちこの叫びの上つた十一月廿五日、會社は組合破壊の第一手段として分會幹部十三名誠首を以て挑戦して來た。従業員は直に作業を止めて工場内従業員大會を開き「誠首絶対反対」の決議をした。翌廿六日朝、被解雇者及び従業員が一團となり平日の如く揃つて工場に入らんとするや、待ち伏せてゐた××、守衛は之を妨害し、はしなくも衝突し大亂闘を現出したのであつた。

この報告に接した附近全帯の工場従業員は極度に憤慨し、翌廿七日には芝浦労働、富士電気、淺野造船、日本ヒューム、日本トラスコン等々の従業員が合同し無慮二千數百名の大示威運動を決行して應戦の意氣を示した。

日本鑄造に於て火蓋を切つた健保闘争は急速に全國に波及した。各地各工場一齊に動搖が起り、恰も往年の×××の如き物凄い勢で發展したのである。今之等の中でストライキに入つた主なる工

場名のみをあけて見ても次の如くである。

- 鶴見日本鑄造會社
- 淺野セメント深川工場
- 淺野セメント函館工場
- 日本紙業會社
- 秀英會工場
- 九州旭ガラス工場
- 福島電氣鐵道
- 新潟鐵工所土崎工場
- 東京鋼鐵家具製造會社
- 仙臺旭紡織會社

而も之等の會社工場が、同一資本系統に屬する場合は××から×××とり×××要求を提出すると共に×××要求を速かに承認せよ、と云ふ條項を必ずつけ加へて闘争した。又同一地域の數ヶ工場が×××要求に基いて協同した。闘争の手段としてストライキだけではなくサボタージュを行つた所もあつた。

かうした労働者の闘争に對して××××××が加へられたことは勿論である。就中暴力團の公々然

たる亂舞に至つては言語道斷のものがあつた。争議團の闘士は白晝暴漢に襲撃された、×××は幾度となく繰返された、演説會は中止、解散せられ、ビラはしばし押收された。

二、中間派の無策、右翼の反動

演壇からのおしやべり

支配階級の猛烈な××の中で左翼組合が労働者の利益のために悪戦苦闘してゐる時、右翼、中間派の指導者は一體何をしてゐたらうか？

中間派の指導者は保険料の資本家全額負擔の要求に對しては左翼と同じ要求を持つてゐることを表明した。しかし之は紙の上で書いたり演壇の上からおしやべりするだけのことであつて實際上の行動は何一つしなかつた。彼等はたゞく闘争の激化進展を見て狼狽するばかりであつた。

總同盟の裏切り

では右翼——總同盟——は如何？

總同盟は例の勢、資、政府の所謂「三分説」を主張してゐた位だから今度の保険法に満足した。た

だ政府の出し前が彼等の主張より少ないのだがそれ位のこととはとるにたりない問題であつた。従つて健保問題に関する彼等の全努力は自己指導下の大衆が左翼の誘惑に乗つて奮起されては大變だからそれを妨げすることに集中された、そのために彼等は必死になつて左翼の展開する運動を中傷し、××××××て評議會の逆宣傳を飛ばすことに精力を集中した。このことは、單に大衆の闘争欲求を防止するばかりでなく左翼が文字通り血みどろになつて勝ち得た「全額負擔」の既得権を資本家に代つて脅威する反動的行爲である。

露骨なる妨害行動

總同盟指導者の裏切りは、その後漸次露骨になり、つひには労働組合運動の分野に於ける地方的協同戦線組織としての「組合會議」から脱退するに至つた。

即ち大阪地方二十三組合によつて組織されてゐた組合會議は、政黨方面が四分五裂の状態になつたのちも繼續せられてゐた。この組合會議が今度の健保問題に關して統一的協同戦線を結成するたために「××代表者會議」の開催を促進する目的を以て會合したことがある。この時分は労働者大衆の闘争心が異常に昂つてゐたので満場一致を以て促進運動に着手する決議が可決された。

ところがこの決議を採用するまでは追隨して來た總同盟側の代表者は、いざ實行委員の選出とい

ふ場合になつて突如「脱退」を聲明して引揚けた。

全大阪の労働組合が協力一致し、戦線の統一をはからんとする瞬間に於て彼は見事に裏切り戦線統一を妨害すべくその立場をハッキリ示したのであつた。

三、神戸に於ける發展

民主々義獲得運動の一環として

右翼からの中傷、逆宣傳、妨害運動を蹴飛ばし、中間派の無爲無策を尻目にかけて左翼の指導する闘争は益々發展した。被保険者同盟は各所に組織された。闘争の激化に従つて資本家側の陣容は弱い部分からバタ／＼倒れた。一ヶ所に於て得た勝利の報導は直に闘争中の大衆にアツピールされ、激動、煽動の拍車となつて彼等の勇氣を百倍にした。今、年内に於て要求を貫徹した例を示すならば、東京家具、塚本ガラス、小田熊製材、高橋ガラス、日魯漁業（七重濱造船所、臺場町鐵工所、同製網所）北村装身具工場等々がある。之等は完全に「全額負擔」の要求を獲得したのであるが其他は人の名目だけ労働者も負擔すると云つたようなものも多数あつた、例へばトラスコン會社では保険料の掛金だけは日給を値上げしたのであつて事實上要求の貫徹である。かくの如く闘争は有利な結果を傳へつ、積極的攻撃戦は進んだ。

保険法實施の期日が切迫するに従ひ、資本家階級はその工場、經營に於てどうでもかうでも否應なしに保険組合を組織しなければならなくなつた。そこで到る所に於て署名、調印を強制するやうになつてきた。それに反抗して従業員の間争心は愈々激化した。

かうした闘争の過程に於て評議會は運動方針を再審議して、次の如く改めた、要約して見れば左の如くである。

- 一、この運動は我國無産階級當面の闘争目標たる民主々義獲得運動の一環として戦ふべきである。
- 二、従つて労働者の全活動及び當面の議會解散請願運動を支持し之へ闘争せる大衆を参加せしめるために努力すること。
- 三、未組織及び右翼、中間派大衆と左翼大衆とを協同的に動員する爲に、工場代表者會議、工場委員會等の闘争組織を展開すること。この闘争の過程に於て右翼中間派幹部の非階級性を暴露して大衆を彼等の手から切り離す事に全力を擧げること。（「日新」昭和二年一月廿日號による）

之を要するに評議會は運動の方向を轉換し、この闘争を「民主々義獲得闘争の一環」として戦ふことにしたのであつた。

こゝにも福本イズムの影響

評議會が健闘に對して最初の指令を發した當時（十一月下旬）は政黨問題が複雑してゐたが今

んとした時、評議會が敢然として立ち大衆闘争を見事に組織して戦ふ事が出来たのは健保闘争の経験があつたればこそ成し得られたものであつた。

健康保険法は、労働者大衆のかくの如きゴウ／＼たる不平と反抗の中にいよく實施され、今日に至つてゐる。XXあると思ふ。

第十章 太平洋労働組合會議成る

一、國際労働會議の排撃

XXXXX成功す

毎年、年が改まると、我國労働運動界には一つの年中行事の問題が起る。即ち國際労働會議へ派遣する労働代表選出問題である。

この頃になると、右翼派の労働組合機關紙は、必ず國際労働會議の效能を、有田ドラツク式に書き立てる、とそれに調子を合してブルジョア新聞紙上にも、その會議の議題及び今年出席する労働代表の顔振れを豫想した記事が晴れがましく掲載されて景氣を添へるのだ。一九二七年に入つて又その日が来た。

而もこの年は、左翼團體の指導する健康保険法闘争並びに議會解散請願運動の上に右翼側の妨害と支配階級の彈壓が猛烈に加へられてゐる眞最中にこの問題が迫つて来たのだ。

國內の事情はまづ新様である。

と提携し「代表選出全労働組合協議會」を組織し、之に参加し、共同聲明書に署名した。かゝる間に於て世界情勢の變化、國際意識の高揚、其他諸運動の經驗の中から評議會は前年までの態度方針を揚棄し、に國際労働會議否認排撃の態度を明確に決定したのである。

ブルジョアの笛に踊るXXX

だが右翼、中間派は、相もかはらず代表選出問題にこうふんするのであつた。

だが國際労働會議に於て決議された條約案は各國とも殆んど實施して居らず、又それを強制する力がないではないか。

ブルジョア階級の國際的規模におけるXXXのためのXXX機関たるこの會議は、XXX右翼幹部を登場さすことによつて會議が労働者階級の利益をもたらすもの、XXX國際的統一の戦線をXXXさせ、國際的分裂をXXXのだ。

中間派の正體

中間派はどうか？

昨年の協議會は——評議會も参加した——一齊に棄權した。そして共同の聲明書には「我々はも

とより國際労働會議そのものには大なる期待をもつものではない、然しながら労働條件の劣悪なこ
と、無産階級の政治的自由の極めて極限されたることに於て國際的に最も劣弱なる地位に在るXX
労働階級にとつては、尙現實に利用すべき價值あることを認める……とある。だがこれはも早今
日問題にならない。評議會が利用價值ありとしたのはこの運動において「國內労働團體の統一」の
一點にあつた。しかし年中行事たるその日が來れば忘れられてゐたこの協議會が誕生して一月二十
七日大阪中央公會堂に會議を持つた。集まつた者は總聯合、組合同盟、司厨、製陶、關西聯合、ダ
ンロップ、評議會等々である。藤岡文六君を議長に選び開かれた此會議は、開會劈頭總聯合の安達
君が立つて、

「この會合は、國際労働會議利用派のみによつて進めて貰ひたいから棄權派は退場して下さい」

と發言した。評議會に行つて貰ひたいのだ。評議會は勿論國際労働會議に反對してゐる、し
かしこの會議は、右翼の四疊半式取引に反對して組織された昨年の協議會の延長である、従つてこ
こでは國際労働會議の本質を公然の討議によつて批判究明し棄權か否かを決定するのだ。

評議會代表者はこの暴言の撤回を迫ると共に國際労働會議のXXを徹底的にXXX、XXX
XXXとなつて労働階級をXXXXXXXX多額の旅費や手當、其他XXXXXXXX、外國見
物したりXXを買つたり、オートバイや古服をみやけにすることが決して労働階級のXXでないこ

働組合組合會議を積極的に支持する事、(四) 勞農ロシアへの觀光團派遣を計畫し、XXに承認を要求し、ロシア勞農大衆へ聲明書を送る事、(五) X英兩國政府に對し、

- 一 XXXXXXXXの即時撤退
- 二 XXXXX反對
- 三 不平等條約のXX
- 四 既得權のXXXX
- 五 國民政府即時承認、北京政府否認。

の要求。支那國民軍及び總工會、英本國、印度、濠洲等の無産團體へXXXXXXXX激勸電報を。最後に對XXXXXXXXの要求聲明書を發表した。

凡ての議案を審議決定した後、支那國民黨中央委員會代表者、何兆芳氏外三氏の祝辭が述べられ、議長大道君と固い握手を交し、「日支無産階級萬歳！」を三唱して盛會裡に散會した。今日此の國民黨から勞働階級の勢力は一切ぬけ去つてそれは中國XX黨に結集し、國民黨は蔣介石を手先とする支那ブルジョアジーの黨となつてゐるのを思へば多少の感なきをえない。

XXの中を廣東XXXX

左翼の全國協議會に於ける前記の決議は、その後着々と實行運動に進んだ。

對XXXXXXXX運動に關しては後の機會を選ぶことにして、こゝでは「太平洋勞働組合會議XXXXの件」に就て一言しよう。

此の運動は急速に發展具體化した。即ち三月廿四日、全國戰闘的十三團體によつて「太平洋勞働組合會議代表派遣協議會」が開かれた。會議はXXXXXXXXによつてXXされたけれども實行委員會が設置され、一人五錢以上宛の基金募集運動並に左の代表者が選定された。

大道憲二、本澤兼次、鈴木源重、龜井司、兼島景毅、原澤武之助、灘波英夫、前川正一、加藤勸十、吉田康、品川英二、小林主雄、野田律太。

この十三人が四月十九日關東側は東京驛を出發し、二十一日神戸出帆の長崎丸に乗船して渡支、五月一日から三日間廣東に開かれる會議に列席することが發表された。

しかし、この中に混つてゐる私もさうであるが十三人共だれも「お前支那へ行け」といふ本當のXXXXXXXX一人もない。そして出發の日の十九日に、みんな一齊に寢込みをXXXXXXXXXXXXた。十三人の外に支那へ行きさうな組合の闘士連中は何十人といつてXXXXXXXX。評議會はこのXXXX對する抗議書を發表した。

しかしさうしたXXXXよそに、XXXXXXXXXXXX代表XXXX副代表日下部千代一

西村泰吉、白戸五郎、藪本正義の四人をつれて、XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX。

第十一章 福本イズムの害毒

一、非マルクス主義的辨證法

理論闘争の苦しみ

左翼は今や全線的闘争を展開した。

議會解散請願運動協議會は、狂暴な彈壓を蹴飛ばして第二回、第三回、第四回と執拗に「請願デ」を決行した。

健康保険法闘争は、左翼のXXXXXXXXXX、XXと、XXXXXとによつて益々大規模な組織的運動へ方向に突進した。

太平洋労働組合會議へ派遣する代表者に加へられた壓迫は、それに対する抗議運動より更に「対XXXXXXXX」の運動へと發展した。

かゝる運動と相俟つて大小工場、職場に於ける日常的經濟的闘争の渦巻は無限に勃發した。而もこれ等諸闘争の先頭には敢然として我が評議會が立つてゐるのだ。

協同戦線統一をひたすらなる「遠慮と謙讓」の美德に依つて達成しようとした一年前の消極的態度を回顧する者は、左翼今日の進出振りを見て全く隔世の感を禁じ得ないであらう。

表面に於てかくも華々しき闘争の中心をなしてゐる評議會は、だがその内面生活に於ては實に憔悴たる苦心と努力とが盡されてゐたのであつた。それは外でもない例の「理論闘争」の故である。

福本イズムによつて指導されてゐる左翼は、その命する「意識完成」とやらの手段たる「理論闘争」を少しでもサボツてはゐられなかつた。

日常闘争に對する輕視

苦心と努力は、たゞに理論闘争のみではなかつた。當時の×××は、×自身の政策活動を評議會におしつけてゐたので、大衆團體たる評議會は實に過重な役割を背負ひ込んでゐた。そのために評議會は大衆團體であると同時に又×をも兼ねた様なことになり、ハッキリした區別がつかぬ位だつた。

評議會の展開する闘争は、それが如何に經濟的原因、要求に基く日常闘争の場合であつても、どうかしてその闘争を「全無産階級政治行動」の闘争にまで發展轉化し、我國當面の階級的争闘目標たる政治的自由即ち「民主々義獲得」の闘争に合流せしめなければならなかつた。さうでなければ

闘争は無意義であると「批判」されるのだ。

彼の健康保険法の闘争に於ても、それが單なる「保険料の全額負擔」と云ふ經濟的要求としてとどまるならば、如何に闘争が發展激化しようともそれは正しく組合主義的政治闘争にしか過ぎないのだ。

福本イズム全盛期に於ける福本イズムからのかうした「批判」は、それが最高權威の如く思はれてゐるたゞけに耐へ難い苦痛であり刺戟であつた。

如何なる闘争に對しても組合主義といふ「批判」をうけるや評議會は、今や必死の勇猛心を以て「意識の完成」へと全努力を傾注するのであつた。思へば妙な工合である。

一方この教材の中には「我々が社會主義的政治意識を意識し得るのは労働者と雇主との間の關係の圏内に於てははなく専ら××の凡ての階級凡ての層と××××××の間の關係の圏内凡ての階級相互間の關係の圏内に於てはある」と教へて居る。これでは組合の闘争よりも勞農黨の闘争が大切だ。と云ふ様なことになつて来る。

かうした關係も手傳つて一層日常闘争が輕視された。

あるエピソード

あつた。

彼の沼津市に於て山本××君が補缺選挙に立候補した時の失敗談はすでに見た一つの例である。演説會に於ける公式はビラの場合にも度々あつた、東京市の仕事に従事する三百名の職員が誠首された時のことだ。この問題から闘争の第一歩に入る大切な大會のために撒布されたビラの最後の一節には、

「不當解雇された者は來れ！ 地位の不安に脅かされる者は來れ！ 東京市の非道に憤慨する者は來れ！ 市役所に不平不満を持つ者は來れ！ 東京市の自治機關を愛する者は來れ！ 東京市政の××××動化に反對する者は來れ！ 利権政治に反對する者は來れ！ 金融××××××××に反對する者は來れ！」とズラリと並べ立ててある。これは俸給生活者組合の指導するものだ。今一つの例を挙げよう。

四谷區民諸君よ！

これが果して人民を××する××の態度であらうか！
否、否、××××××は區民を保護するものに非ずして、既に日本紙業の手先と化してゐるのだ。巷間に
かまびすしき××××と日本紙業との醜關係は今や是認せざるを得ない。××××を糺弾せよ。

日本紙業等 謹 啓

例の一は、これが大會へのスローガンとしてはあまり雑然として色々のものが並べられてゐるだけで、一體誰れに何を呼びかけてゐるのか判らぬ。東京市政の反動化、利権政治反對、金融寡頭××政治反對」等の公式を追加することによつて恰も此問題を政治闘争に轉じ得るもの、如くに考へてゐる様である。

例の二は、争議團に加へられた××××××を直接そのまゝもつて來て「××は一般區民を××するものでない」と叫んでゐる。會社と××とが××になつてゐると云つたところで一般區民は「それはけしからん」と思ふかも知れんが、決して左様なことで奮起するものではない。否、かへつて區民はブチブチの根性の故に、かゝるアツピールに對しては争議團が區民を利用しにかゝつたものだとさへ考へるに至るのだ。

斯様の實例は當時いくらかあつた。

關東金屬労働組合大會は、かゝる状態の最中に開かれたものであつた。こゝでは最近大流行の左翼的言辭を以ていとも華やかに論戰が交へられ、そして遂に「我が戰闘的労働組合は……：廣く國際的諸問題より日常諸般の闘争に至るまでの廣範なる政治闘争を計畫し、組織し、指導し行かん……：」云々。といふ調子にまで進行し組合の大會が政黨の大會かちよつと見當がつかなくなつた。

一般傍聴者はビツクリした。一部ではこの傾向を「小兒病」だと云つた。だが、かゝる中に於て協同戦線黨たる労働農民黨の基礎は漸く確立し、同時に「XXX」は労働黨の一角に「書記局」を作るに至つてやつと評議會がこれらの「任務」から解放されたことは、前にもいつた通りである。

再び方向轉換

労働組合に對して「意識の完成」を命じ「理論闘争」を課し、分離結合の必要を力説した福本イズムは、今XXXの基礎が定まり労働黨が左翼化するに至つて、大衆團體に今度は「混合型を脱脚し本來の經濟闘争に復れ！」と云ふのだ。これは政治は政黨にと云ふことになる。しかし評議會はこの命令に對して又亦方向を轉換するのである。

第十一章 工場代表者會議運動

一、金融XXXのX來る

二億のXXXを資本家へ

福本イズムの指導を全幅的に取り入れてゐた評議會——及び統一同盟加盟組合——は、前述の如き幾多の混亂を重ねはしたが、さうした中に於て、活動的分子の間に、マルクス主義意識を高め、XXXXXXXXXの獨立的結成の必要と、それへの参加を熱望する氣運を非常に高めた。

一方、労働黨の左翼化と積極的活動、就中議會解散請願運動のすさまじき展開によつて組織労働者は云ふまでもなく一般労働大衆の中に政治問題に對する意識を浸透し、その關心と熱とを強めた事はまことに著るしいものがあつた。

斯の如く一般大衆の政治的成長の中に於て若槻憲政會内閣は第五十二議會を開き、數多のXXX法律を新らしく制定し、加ふるに「震災損失手形補償公債法案」及び「震災手形善後處理法案」を提出した。

歐洲大戰後の恐慌と關東震災による打撃を回復し、金融資本の統制を確立するためには、どうしても金融制度の障害となり、金融梗塞の原因をなしてゐる震災手形を處理する必要があつた。

若槻内閣は今やこの使命を果すために、衆議院に於ては彼の有名な「三黨主會合、妥協」的一幕により、豫算審議權の抛棄を敢てなさしめた。而して貴族院に於ては、商業資本家側の反對の聲が起り修正意見が擡頭しかけると、今度は銀行の倒壊、經濟界大混亂の宣傳を飛ばして見事にも反對説を鎮壓し、かくてこゝに二億七百萬圓の震災手形整理費を負擔せしめた。

若槻内閣倒る

而も瀕死の大資本閥を救済するための議會が漸く閉會した直後に於て今度は臺灣銀行を救済するために更に二億圓以上の損失補償を日銀に當へることを臨時閣議で決定し、緊急勅令の發布を樞密院に諮詢した。

若槻内閣が何故この差し迫つた重大な問題を議會に提出しなかつたか？

それは國民の反對運動を怖れたとか、後繼内閣へ責任轉嫁するためだとか色々あらうがそんな事はどうでもいゝ。

樞密院は之に反對した。表面の理由は、憲法違反と云ふのだ、だが伊東巳代治の演説の中には、

單に憲法違反として反對するだけではなく極度の漫罵と痛烈な皮肉とを以て對支外交の軟弱を罵倒したところがあつた。

かくて若槻内閣は、その政策が樞密院で否決されたといふ事が理由で辭職した。

田中内閣現はる

そこで「憲政の常道」から田中大將の内閣が組織されたのだ。

政友會内閣は組閣と同時に所謂三大政綱を發表した。曰く「産業の振興、地租移讓、對支問題強硬」である。

田中大將が××××の本家元締であり頑迷固陋、古今に徹した人物であることは世界的に有名である。而してその關係の中には鈴木喜三郎あり小川平吉ありだ。田中内閣は就任直後聲明書を發表して曰く「……もしそれ支那に於ける共產軍の擴張に至りては其結果如何により直接最も影響を受けるおそれあり、我國の立場として即ち東亞全局の保持に對して重大なる責任を感じてゐる日本として全然これに無關心である譯には参らぬ」と。

モラトリアム發布さる

に、この際「失業手当法」の即時貸付を要求するものだ。失業は労働者に何卒の責任はない。失業は資本家制度の必然の結果だ。失業の負擔は、當然資本家階級が負ふべきものだ。これ現に失業せるもののみならず常に失業の不安にさらされてゐる労働階級全體の當面の要求である。「失業手当法」を即時制定実施しろ！

工場閉鎖によつて失業した労働者も
働いてゐる労働者も、失業者も、全
労働者は、工場代表者會議に集れ！
工場代表者會議を開催して×××××せよ！

昭和二年四月廿八日

東京市芝區愛宕町三ノ一

統一運動全國同盟

この一枚のビラ！ ××、片々たるこのビラが、敏速に、全國の各工場、職場に持ち込まれるや、實に××××××××××××××××である。

三、工・代・會議の×××

全国的に×××

この時、労働農民黨はこの闘争を政治的自由獲得闘争に結びつけて強力な運動を開始した。

かくて一ヶ月を経過するかしないかの間に「工場代表者會議」は實に全國に亘り偉大なる成功を遂げた。その一斑を示すならば次の通りだ。

(一) 東京地方

- 木場製材工場代表者會議
- 北豊島工場代表者會議
- 全東京金屬産業工場代表者會議
- 南千住工場代表者會議
- 荏原工場代表者會議
- 横濱全市工場代表者會議
- 北豊多摩工場代表者會議
- 全市皮革工場代表者會議
- 南葛工場代表者會議
- 全東京出版産業工場代表者會議
- 東橋工場代表者會議
- 省線電車車庫代表者會議
- 江東工場代表者會議
- 全東京化學工場代表者會議
- 城東工場代表者會議
- 京濱工場代表者會議

(二) 東北、北海道地方

- 青森工場代表者會議
- 宮城工場代表者會議
- 福島工場代表者會議
- 小樽工場代表者會議
- 秋田工場代表者會議

(三) 名古屋市

- 名古屋金屬工場代表者會議
- 名古屋木材工場代表者會議

(四) 京都府

- 京都染物工場代表者會議
- 京都洛口工場代表者會議
- 京都丸太工場代表者會議

京都堀川工場代表者會議

尙ほ京都に於ては全京都工場代表者會議開催のため數十工場に於て職工大會、従業員大會が開かれた。

(五) 大阪 市

大阪市電氣局代表者會議

全大阪工場代表者會議

尙大阪に於ても京都と同じく全大阪工場代表者會議並びに産業別工場代表者會議開催のため各工場に於て職工大會、従業員大會が開催された。

(六) 兵庫 縣

兵庫縣工場代表者會議

尼ヶ崎工場代表者會議

(七) 九州 地 方

久留米工場代表者會議

八幡工場代表者會議

戸畑工場代表者會議

小倉工場代表者會議

以上のうち深川木材の工場代表者會議には組合同盟關東合同の木材支部所屬工場がこぞつて参加して居り、江東工場代表者會議参加工場二八のうち評議會が一八、組合同盟が二、未組織が八、京濱工場代表者會議には總聯合の瓦斯電氣が参加してゐる。皮革工場代表者會議は組合同盟の所屬工場と總同盟の所屬工場とが發起で開催したものであつた。

之によつても如何に「工場代表者會議」の提唱が大眾によつて支持されたかが解るではないか。

これは六月中旬頃の情勢であつてこれより以來更に大々的な發展を見たことは云ふまでもない。

オルガナイザーの仕事

左翼組合の全力的、總動員的な努力と、大衆の熱烈な支持とによつて、「工代會議」は全國的に開かれ益々擴大發展した。

次に、會議のもやうを見ることにする。會議に集まつた労働者の口から第一に叫ばれたことは自分の今日働いてゐる工場の労働條件の劣悪さに關する不平不満であつた。

「俺の工場では解雇してもビター一文の手當も出さない！」

「俺とここでは病氣にかゝると健康保険の規定で醫者のところへ行くが實に不親切だ！」

「わしの會社で先日同僚の甲が死んだが、事務所の奴等は葬式にも顔を出さなかつた」

「僕の所にはこゝ、二三年昇給がない」

「俺の工場では近日中に大減首がある様子だ」

「ウン、さう云へば俺とこはなしくづしに解雇して居る」

先づかう云つた調子である。労働組合の會合のやうに「議長！」と叫んで發言を求め、それから演説口調で秩序整然と述べる者は甚だ僅少である。労働者は「労働者の言葉」で不調法にして端的

交通事故特別裁判所の設置、職業病保障の獲得、處罰規定の改正、「減車反対、日給制確立、共済組合の改正、監督制度の改正——以上電車」、退職手当減額反対、共済組合改正、二十四時間勤務制撤廃、八時間労働制獲得、軌道、車輪設備の完成——以上鐵道、「相互制度反対——以上自動車」

(5) 化學工業（セルロイド、ゴム、製薬）

有害及び危険防止設備の完備及び保障の獲得。

(6) 硝子

危険防止設備、職業病の保障獲得、少年工の禁止、生活標準賃銀の獲得。

(7) 木材

最低賃銀の制定（以下略す）

(8) 自由労働者

工場法の適用、親方請負、中間搾取の撤廃。

(9) 食料品（略す）

(10) 印刷

鉛塵の排除（以下略す）

右の×××××、一般的題目は全國的、地方的、地域的代表者會議の×××××である。産業別種目中には當然一般的題目に掲げられてゐるものが多く並列されてあるが之は省略しておいた。

勿論これは×××××したものであつてこれ以外に必要な、或は有效な×××××それ／＼の場合に追加された。

×××××××××××××××、寄宿舎監の排斥、寄宿舎取締りの改正、寄宿舎の自治等々である。而も之等の×××は、その具體的發現をとらへて曝露し、×××××××××××××××るのである。

×からの統一戦線

工代會議は素晴しく發達した。會議の開かれる毎に新らしき工場代表者がナダレを打つて押しかけた。今や一般労働大衆は労働條件を如何に改悪されてもデット辛抱し、敵首の恐怖にチッコマツてゐる様な意氣地なしではなくなつた。

彼等は昔日の彼等ではない。彼等は闘争する事を知つた。そのための組織を持つた。共同して戦ふために要求を統一した。

すでに前掲の表によつて右翼、中間派、未組織工場から代表者の参加した有様を見たのであるがそれだけでは充分でない。こゝにあける例は、兵庫縣の實際の情勢報告であるが、そこには何があるか。

兵庫縣工場代表者會議第三回大會参加工場代表者所屬組合表

工場名	代表数	所屬組合	工場名	代表数	所屬組合	工場名	代表数	所屬組合
国際波止場	二		東京製鋼	五	總同盟	田中出版	一	評議會
市役所	二		森田製材	一		大平印刷	二	評議會
市電氣局	二		岩田製粉	一		工場不明	六	評議會
失業者	七		岡崎工場	一		黒田印刷	一	評議會
秋毎工場	一		大坪工場	一		ホアイ印刷	一	評議會
工場不明	二		坂東調帯	三	評議會	備北印刷	一	評議會
鹽崎染工場	二		東亞工場	五	評議會	小田切印刷	五	評議會
日本ローソク	一		帝國工場	一		藤本印刷	二	評議會
島岡工場	二		長谷工場	一		北村鑄造所	一	
東亞エナメル	二	評議會	山根鐵工所	一		有吉藤細工	一	
西神製粉	一		日本發動機	三	評議會	製針工場	一	
東洋マツチ	三	總聯合	高尾鐵工所	二	評議會	上山鐵工場	一	
郵便局	二		石原造船所	一		鐵道省庶取工場	二	鐵從
市電發所	一		兵庫造船所	一		日英自轉車	三	評議會
神戶瓦斯	三		三菱造船所	九	評議會	川崎造船所	一	評議會
東洋工場	一		大和屋シャツ	一		實外印刷	一	
大光商會	二		宮下製材	一		中外印刷	一	
三光商會	一		柏原木型工場	一		補公印刷	一	
柏木印刷	一					日木化学	一	
内外ゴム	三	評議會				神戸化学	二	評議會

尼ヶ崎工場代表者會議参加工場、人員、組合別表

工場名	出席代表	組合別	工場名	出席代表	組合別	工場名	出席代表	組合別
日本電線	一七	關西合同	東亞セメント	五		田中車輪工場	一	
住友伸銅	二		ビール醸泉	四	總同盟	兼川金	六	關西合同
大日本紡織	四		富島組	一		武川ゴム	四	
鈴木製材	一〇		尼崎伸銅所	一		中川鉛メッキ	一	
大正運輸	一		不材板	一		尼崎工作所	一	
久保田織工	二	總同盟	木電業	二		上田鑄物工場	二	
中山製釘	一		日本電力	二		阪神電氣局	一	
乾鐵線	一	關西合同	木管	一	總同盟	日本ガス	三	
大阪製麻	一	總同盟				マグネシウム	二	
田阪製作所	一					三島鐵工	二	

一、合計 三〇工場 一三九名出席
 二、組合別内詳 (關西合同) 三工場三七名、(總同盟) 四工場二八名、(未組織) 二二工場七四名
 三、産業別内詳 (金屬) 十二工場六六名、(紡織) 二工場五名、(化學) 七工場一七名、(木材) 三工場一三名、(運輸交通) 三工場一三名、(雜) 三工場一一名

組織内容はかくも豊富であり複雑であつた。それは一般労働大衆の絶大な支持の集まつたことの

XXXXXX同收を頻繁にしてX客の混雑を緩和するといふ名目の下に、去る四月突然今迄十二分隔時XXであつたのを五月一日から八分隔時XX(XX間)にする旨従業員に發表した。此の發表を聞いて全従業員は、今迄ですら激務に堪へられぬと改善を迫つて居つたのに、これでは愈々俺達を使XXつもりかとはかり、之に對する全従業員の反對運動が起された。

XXXXXX反對の第一聲を擧げる

XXXX大會を開催して要求統一

反對の決議と嘆願を主任に提出

此のXXXXXXをされるやXXXXは先づ起つて、四月二十九日第一回XXXX大會を開催し全員一致を以つて次の如き決議をなし、之を嘆願事項としてXXXX主任に突き付けた。

- (一) 甲組XX(定期XX) 一日の従業、XXXXXを二往復半にせられたし。(改正XXでは三往復)
- (二) 乙組XX(ラッシュアワーXX) 午前午後の二従業に分たれたし。(中間時間の拘束廢止)
- (三) 五百ダイヤ(臨時運轉事故發生等の場合)を廢して勤務八時間以内の豫備員を甲組支番中に附置せられたし。

更に以上の要求は全般的實現をはかるため當大會は各XXXXに對し共同戦線を張ることの提唱を決議し直ちに委員をXXXXに派遣した。

XXXXあいまいな返答に従業員激昂

公休日出勤を一齊に拒絶す

助X主任がXXXXの代りをしたが激務にヘトヘト
従業員の正しい要求彼等もなる程と列る

従業員の要求に對するXXの回答が、何等要領を得ない爲め、従業員は激昂して第二回大會を開き、強固なる結束によつて要求を貫徹すべく

- (一) 公休日出勤は絶對にせざること
- (二) 早着は一秒たりともなさざること
- (三) 嘆願書(事項)が容れられざる時は、右二項の外に労働者としての良心に基き各自自由の行動をとること

等、悲壯なる申合せを決議し連判狀を作成した。五月一日決議は實行に移された。従業員が公休日出勤を拒否したため、助X主任がXXすると云ふ騒ぎ、XXXXの混雑さといつたら、まるで成つてぬない。今更の如く狼狽した主任は早速従業員代表を呼出し「嘆願事項實施のためには自分の職を賭しても努力するから三日間公休日の出勤にも應じて貰ひたい」とアッコに懇願した。

XXXXXXに續いて

XXXX、XXXX、XXXX、XX等續々XXXX大會を開いて

一致の行動を採ることを決議

XXに刺戟されてXXXXXまた同日(二十九日)XXXX大會を開き、改正案反對と、更にXXXX時改正に當つてはXXXXを参加せられたしと企業參與の一項目を加へて嘆願した。

續いて三十日、XXXXXXは大会を開き、XXXは主催に嘆願事項を提出した。
XXXXXXは五月六日午前午後二回に渡つてXXX大会を開き、さきに巧妙な策動によつてXXX全部をXXXXXX組合から脱会させた裏切者坂入真吉に對しXXXXX幹部辭職を全員一致で勧告することを申合せ、XXと行動を共にすることを決議した。

XXXXXXも大会開催中

XXが主催でXXXが参加

XXXX代表者會議XXXXX盟成立

今度の争議ばかりでなく、全従業員の全問題を取り上げて戦ふ爲めに、聯盟を永續的なものとすることを決議した。

(五月十日)

金属労働者も遂に奮起した

全東京金属産業工場代表者會議

▲来る廿八日芝浦サムライクラブ開催に定る
▲設金工場全市にわたり大小實に六十有餘

都下各金属工場に於ては、財界動搖の影響を蒙り、中小工場の休業、給料不拂等續出して居るので、此等工場は北部地方、江東地方、芝、京濱地方等、あらゆるでもこちらでも、他産業工場に提唱して工場代表者會議を組織して來たが、全金属労働者として其要求を統一し、資本家に對する戦線を鞏固にするため、全市的金属産業工場代表者會議開催の氣運熱し、愈々来る二十八日沖電氣、芝浦製作所、池貝鐵工場等を

始めとし、全市大小六十餘工場が發企となり芝浦サムライ俱樂部に於て、第一回全東京金属工場代表者會議を開くことになつた。

議題も決定し準備をさ〜怠りなし

全東京工場代表者會議の提唱

(議題) 工場閉鎖反對—賃銀値下反對—解雇絕對反對—労働條件改善—工場設備改善—要求其他等々

宣傳、勸誘のピラ數十萬枚を撒布す

發企工場の代表者有志等早速準備會を開いて前記の如き議題を決定し、更に進んで或は宣傳に或は勸誘に、夜の暇もれずに必死的活動をやつて居る。

當夜の議題として前記諸項の外に尙「會費離出の件」「規約制定の件」「全東京工場代表者會議提唱の件」「地域的工場委員會組織促進の件」等、今日の如く労働者は何時失業するかわからないやうな不安な状態にあるとき、是非しなければならぬ議題ばかりであり、其の上、何と言つても近代工業の中心勢力である金属工業の労働者が一致して全東京工場代表者會議を開くとすれば、遅くとも六月十日頃迄にはXX、XX、XX、XXXXの全工場代表者會議の成立は確實と見てもいい。

(五月二十三日)

電燈だつて不平は山程あると—纏ゆるXXXXXXで

江東工場代表者會議開かる!

▲参加工場三十餘▲押すなくで議案に込る▲解雇絕對反對賃銀値下絕對反對、更に木材争議提議等を決議す

江東方面に於ける工場代表者會議の準備委員会は、兼れて着々とその準備を進めてゐたが、木材の争闘に依つて急速に促進され、廿三日、切實なる労働者の要求を代表して此處に江東一圓の工場代表者會議は設立された。

- (1) 解雇絶對反對
 - (2) 賃銀値下絶對反對
 - (3) 臨時工制度即時撤廢
 - (4) 木材争闘の徹底的應援
- 等の議事の下に、

「労働者は今之を要求してゐるんだ」と各工場代表者の火の出る様な叫び、或る者は、自らの暗い悲惨な生活を、機械に呑まれた兄弟の事を、工主の横暴をなぢり、或る者は、雇主の解雇、賃銀値下の陰謀をアチマケ、亦他の或る者は、上長の無謀を、設備の不完全を、斯くて不平は、痛烈に暴破され打揚げられた。

會議は、以上の決議を爲すと共に、各工場より選出の實行委員会を作り、工場代表者會議としての基礎を確めると共に實行委員会は直ちに更に第二回のもつと擴大された工場代表者會議を召集するべく猛運動を開始した。

大量的失業の洪水と臨時休業に反對し

京濱工場代表者會議開かる！

總ゆる大工場代表者々と準備委員に参加し来る

神奈川県工場地帯として知られた川崎、鶴見方面は、それだけ又金融恐慌の影響、資本家の横暴、實

に甚しく、最近に於ては、森永製菓の半日給の休業、東京電力川崎火力発電所の百五十名の解雇、日本蓄音器工場の百八十名の解雇等々、然かもそれ等が全て何等の手當も支給されず、他方、他工場にても解雇賃銀値下の計畫等があり、労働者の不安、激昂は頓に増大し、此處に京濱間に於ける總ゆる大工場の代表者による工場代表者會議は準備され、解雇絶對反對、賃銀低下絶對反對、臨時休業反對等のスローガンの下に一大抗議運動を開始する事に決定された。

該會議は二十三日に召集されたものであるが、参加工場は芝浦製作所、淺野ドック、トラスコン、東京製線、森永製菓、ヒエームコンクリート、愛工舎、富士紡、淺野造船、日本鋼管等々であり、實に三十有餘の代表者が参加した。

更に全神奈川県工場代表者會議を開催する

未参加工場から準備會へ申込殺到

十五工場の代表によつて組織されたる京濱工場代表者會議準備會は、更に全神奈川県工場代表會議を開催するために、未参加の工場を勧誘して、来る二十八日川崎市公開堂に於てオール京濱工場代表者會議を開催して参加したる各工場より實行委員を選出して、實行委員會を組織する事になつた。

尙準備會ではこの工場代表者會議を一般労働者に宣傳するために、一千枚のポスターを張り、三萬枚のピラを撒く事になつた。

参加申込殺到し時ならぬ應援振りを示す

全東京金屬工場代表者會議準備委員會

更に廿六、七、八の三日間に渡つて一大宣傳デーを發行

田中大將に三百萬圓貸して天下の大問題を起した日本一の高利貸乾新兵衛の弟である。×××××は説明するまでもなくヒドイものであった。

×××××に對抗するために左翼の提唱した工場代表者會議が、關西合同及び乾爭議團の努力によつて組織された、(前×××××はそれだ!) 又労働黨攝陽支部、日労働ニヶ崎支部は協同戦線の聲明書を發してこの爭議を援助するために立ち上つた。

右の如く友誼關係にある左翼が極力努力してゐる時、指導的な地位にある日労働幹部及組合同盟指導者は何をしたか!

彼等は、かくの如き左翼との共同戦線を見てニガリ切つてゐた。

丁度此頃のことだ、加古川の日本毛織會社にも大ストライキが勃發してゐた。こゝには單獨組合誠和會が組織されてゐるが、漸く横斷的組織に加盟する氣運になつてゐたので麻生、三宅、河野等の幹部がコソコソ策動に出かけた。ところがワザワザ加古川まで出張する程の熱心な諸君がどうしたのかニヶ崎の爭議團へはよりつかかなかつた。

そこで闘争中の労働者は、組合同盟の幹部が何時も云つてゐる「左翼は小兒病だ」とか「協同戦線を打壊す」とか云ふのは虚偽であつて、さう云ふ幹部こそは全く裏切者である、と知るに到つた。このストライキは二ヶ月に亙る悪戦苦闘にも拘らずあまり芳しからぬ條件の下に打切つたが、日

労働の中央委員會は左翼と協同戦線を提携したと云ふ理由で先づ教育部長喜入虎二郎君を除名し、更にその除名に對し反對したと云ふので今度は最も戰闘的な關西合同をも除名してしまつた。

關西合同の教育部長をして居つた喜入君のことに就て面白いエピソードがある。同君はその後××關西地方委員長となり山名義鶴氏の秘書役の如くにしてゐた。山名氏は××黨の關西地方委員長を秘書役に備ひ込んで安心してゐたことは知らぬが佛だとも云へよう。しかしその喜入も今は××××やらになつてゐるさうだから安心して可なりだらう

典型的日和見主義

左翼の進出を喰ひ止めるためにすつかり反動的になり下つた中間派指導者は工代運動に参加した者は片端から除名した。かうした事に反對して自ら脱退する者も澤山あつた。

常盤地方の鐵夫組合が彼等の指導に離反して評議會に加盟したのも此頃であつた。

中間派幹部が死力をつくして狂奔し、盛んなデマゴギーを飛ばす理由はも早あきらかだ。彼等は左翼の運動が一寸伸びればそれだけ彼等自身が大家から浮上り、その支配下の労働者においてきばりを食ふ危険があるからである。

彼等は「工場代表者會議は工場委員會の實施をその前提とする。工場委員會がないのに常設的工

場代表者會議を作ることは運動の逆である」(日本労働新聞六月十五日號)などともいつたが運動の方向が順だとか逆だとか典型的日和見主義の机上論をしてゐるうちに、大衆の闘争はグン／＼進んで行く。

中間派指導者は今や全く反動家になつた。

第十三章 第三回全國大會

一、大會準備

混合型を脱せよ!

金融動亂をきっかけに、全国各地に工場代表者會議の闘争が押しす、められようとする直前に意義深い第三回大會が持たれたことも、に改めて話さねばならない。

評議會はその創立大會を神戸市に於て舉行し、第二回大會を東京市に於て開き、第三回大會は大阪で開催した。第四回大會は昭和三年四月、東京市に於て開く筈であつたが三・一五事件により解散されてしまつたので「全國大會」はこの第三回目の大會が最後のものとなつた。さうした關係で私達には第三回大會の状況の一つ一つが思ひ出多いものとなつてゐる。

それは別として當時の社會情勢は頗る切迫してゐたのと、この闘争を左翼が如何に統一し、展開するか、又闘争統一化の戦術としての「工場代表者會議」の具體的方法如何? 等に就て評議會大會が規定する内容は、我國労働運動界は勿論のこと、其他各方面から重要視され、注目された。更にこの大會に於て社會の注意を集中したことは、所謂「混合型脱却」の問題である。

正午の休憩を終り午後二時再會、この時は大會の型式は完全に整ひ、成立した。そこで議事委員會の報告が委員長齋藤忠利君からなされたのであるが、この報告によつて議案中「太平洋労働組合會議支持の件」×××干渉に關する決議案」及び「ソビエットロシアへ觀光團派遣の件」が××の干渉に依つて撤回を命ぜられた旨が傳へられるや一般代議員は非常に憤慨した。而してかゝる壓迫に對しては飽くまで抗争しよう。といふことに一決し、直ちに抗議文を起草し、××に對して抗議するための特別委員を選定して嚴談する一方、この問題を「暴壓反對運動」とを結びつけ徹底的に闘争することを決議した。

決議つきで中央委員會報告承認

大會第一日の議案中、先づ最初に問題になるのは「中央委員會の報告」が本部常任委員中村義明君に依つて報告された。この報告に對して各代議員から種々熱心な質問があり、中央委員よりの答辯が満足するところまでつくされた。約二時間にわたる質問應答の後、この報告は審査委員會に廻すことになつて打ち切つた。

そしてこの報告は審査委員會を経て大會第三日目に次の如き希望を附して承認された。

「本大會は中央委員會の活動に關する報告に満足の意を表して承認する。しかし、中央委員會

の活動報告中に、組合的闘争に關する具體的に詳細な報告のないことは遺憾であるが、これは労働組合が政黨的役割をもあはせもたなければならなかつた今日までの吾々の運動の必然に基くものであることを認めると共に、來年度の全國大會に於ては、これ等の點に就いて、吾々を満足せしめるであらうことを確信し、本報告を承認する。」

かくて午後六時三十分、第一日の議事を終り、夜は市廳舎の地下室食堂に於て盛大なる懇親會を開いた。

この懇親會に就て思ひ浮ぶことは、彼の山本宣治氏が、招待席におられたことである。例によつて元氣のい、テーブルスピーチが次から次へと廻りつひに山本先生の順番が來た時、「今日の大會を傍聴してゐると代議員諸君の言論は××のために度々××される、實に癢にさはることだ。我々は團結と闘争によつて斯様な不快極まるものは無くせねばならぬ。さうして自由に發言し討論出来る日を一日も近からしめねばならぬ」と言はれた時嵐のやうな拍手が起つた。同じく招待席に着いてゐた水谷長三郎君は、その直ぐ後で立ち上り「私は左翼ファンであります」とおしやべりをして皆を笑はした。全く彼れは景氣のい、時にだけ「左翼ファン」であつたのだ。

三、大會第二日

抗議委員の上京

二日目は、定刻午前十時から開かれた。昨日撤回命令を受けた議案に對して抗議委員が出發することになった。これには勞農黨大阪支部聯合會代表者も同行するのであつた。そこで議長は抗議委員を演壇正面にまねき、全代議員起立して

太平洋勞働組合會議萬歲！

支那×××運動萬歲！

を三唱した。傍聽席からも之れに唱和する者多く拍手が雷の如く起つた。

新方針の討論

抗議委員が意氣揚々と出發した後で直ちに議事日程に移り「勞働組合運動並びに一般狀勢に関する報告」が上程され、國領五一郎君説明の任に當つた。

この報告はとんでもなく長いもので今日では貴重な文獻であるが省略する。報告が終ると代議員より盛んな質問があつた。中央委員は交々立つて親切に應答した。かくて質問打ち切り討論に入り結局數ヶ所にわたり部分的修正を加へること、なり詳細な點は特別委員をあげて審査することにきまつた。これを以て午前の會議を終り、午後二時再會、劈頭勞農黨委員長大山郁夫氏の祝辭演説が

萬雷の如き拍手の中に終ると議事に移つた。

こゝでの問題は、一般狀勢報告に基いて中央委員會が起草した「運動方針」が議題に供せられたのであつた。

この新方針決定こそは大會中の最も重要な根本問題である。説明擔當者は中村義明君であつた。この方針に就ては第二日目に報告だけして質問討論は翌三日目にゆづることになつた。蓋し問題が極めて重大であるから一晩ゆづり考へた上で一層熱心に討議したいからであつた。

質問と討論の中心となつたものは、勞働組合の中心的任務たる日常的經濟闘争に関する具體的方針、政黨との關係、及び總聯合運動と組織問題等であつた。

且つては「理論闘争」の直接の悪い影響として日常闘争を「組合主義的闘争」として輕視したこともあつたが、今はそうではなかつた。従つて「我々は今や經濟闘争を勇猛果敢に展開すべきである」等と、實はこれが當然の任務であるにも拘はらず何かかう新規なことで、もあるかの如くに叫んだものもあつた。要するに運動方針は、素晴らしい熱心さを以て徹底的に討論されたのである。而してこの討議の内容を基礎として小委員會にて修正されたものが大會で決定された。

今その全文をこゝへ掲げたいのだが之又十分長くなるので、何れ別に「評議會資料集」ともいふべきものを作り、その中へ収載する考へで、今は省いておく。

四、大會 第三日

綱領を改める

八日、九日兩日の好天氣に引きかへ三日目の十日は朝から雨が降つた。けれども定刻十時には一人の缺員もなく各々着席し、又傍聴席もギッシリ銷詰めになつてゐた。

前に述べた運動方針の討論が活氣を呈したあとで、今度は中央委員會提案の「綱領改正に関する決議案」が上提され、河田賢治君に依つて説明された。

この議案も質問討論の上、小委員に附託されたものであつて、その提案理由と決定した新綱領を擧げて見れば次の如し。

綱領改正に関する決議案

評議會の創立大會に於て採用せる綱領は、無産階級運動の現發展段階より見たる時、その内容に於て全く不充てであり、且つ觀念的抽象的なるものである。

例へば「組合運動の目的」に於て労働者の日常經濟利益の擁護と完全なる解放とは何等の結びつきなく並列されてゐる。しかも「組合運動の教育的任務」「行動の一般方針」中に規定されてゐる所を見れば、無

産階級の解放は、組合運動によつてズルズルに達成せらるゝが如くである。

組合運動があらゆる運動の主體として活動せる状態の下にあつては、我評議會が、かかる綱領を掲げたるも當然であつた。だが、労働農民黨の成立、その具體的活動の開始は、我が評議會をして、かかる「混合型」より脱却すべき條件を與へてゐる。我が評議會があたへられたる條件の下に「混合型」より脱却することは、全運動に最も忠實なる所以である。

我々は在來の抽象的、觀念的綱領を廢止して、評議會が、労働大衆の日常利益を眞實に擁護する労働組合としての綱領を掲げなければならぬ。何故ならば、評議會は労働組合である以上、労働大衆の日常經濟利益を第一の契機として成立せるものであり、之を最も果敢に遂行する事によつて始めて、その政治的任務をも達成し得るからである。かくて我々は、次の新綱領を採用する。

一、一日八時間労働制（一週四十八時間制）
 二、標準生活賃銀制の確立
 三、失業手当法の制定
 四、婦人及幼年保護法の制定
 五、工場法續業法海員法の徹底的改正
 六、官僚的就業規則の撤廢
 七、健康保險法の徹底的改正

- 八、完全なる労働組合法の獲得
- 九、治安維持法、労働争議調停法、暴威取締法其の他無産階級弾壓法の即時撤廃
- 十、労働者の政黨加入の自由
- 十一、ファシズムに對する徹底的闘争
- 十二、國內労働組合戦線統一のための闘争
- 十三、國際労働會議の否認
- 十四、國際労働組合戦線統一のための闘争
- 十五、朝鮮、臺灣労働組合運動の支持

以上

「無産者新聞」支持の件

網領の審議を完了して正午の休憩をなし、午後の會議では、

- △八時間労働制に関する決議案
- △健康保険法對策に関する決議案
- △國際労働會議否認に関する決議案
- △救援委員會設置に関する決議案
- △協調的團體協約排撃の件

の諸議案が可決され、次に京都地方評議會提案の、

△暴壓法並びに暴壓法案排撃に関する決議案、が××の異常な緊張裡に可決された。

尙ほ此日、評議會本部事務所を大阪から東京に移轉することが決定したこと、緊急動議として「無産者新聞支持の件」が提出され満場異議なく即決可決し、直ちに支持に関する具體的方向として代議員及び一般傍聴席へも帽子を廻して寄附金を集めた。

夜は各々産業別に協議會を開くことにして、第三日目は終つた。

第一日の夜は懇親會で夜をふかし、第二日目の夜は労働黨主催の演說會に盡力し、今日は又産業別協議會のために努力するのだ、而も此合ひ間には議案綴りに目を通すのである。だが、全員少しも疲勞の色は見せなかつた。

五、大會第四日

婦人部を設置す

四日目の會議は閉會劈頭、

△失業運動に関する決議案。

が上程された。これは関東金属労働組合の提案であつて、原案提出者からスローガンを幾分修正して可決し、つぎに、

△消費組合運動に関する決議案。が可決し、

△在日本朝鮮労働者組織に関する件。

が質問、討論なく通過し、

△總本部婦人部設置に関する決議案。

これは昨年の大會では激論の末、つひに意見の一致を見ず保留となつてゐたものであるが一ヶ年間の継続的討議によりすでに解決してゐる。即ち婦人組合員の自主的活動を促進して、組合の闘争に活潑に参加せしめるやう努力すると共に、婦人同盟と密接なる連絡を保ちて婦人同盟を支持し協力し、その全活動に婦人組合員を動員せしめるために中央執行機關の補助機關として執行機關の統制の下に下級の婦人部との直接の連絡と活動の統一とを保つところの特殊なる部門としての婦人部を設置することになつた。

△十州鹽田労働者組織に関する決議案。

二十萬の鹽田労働者を組織する運動に関する決議案である。可決。

組合運動統一のために

△全國労働組合總聯合結成運動に関する決議案。(中央委員會提出)

——その全文——

【一】

白熱的な左右兩翼對立闘争の過程に於て、我が評議會は、全無産階級的政治闘争主義の指導精神を一塵戦ひ取ることが出来た。かくて全無産階級政治闘争の共同戦線體としての労働農民黨成立と、それを支持することに依つて、組合の政策的混合型特質を揚棄する條件は備はつた。かくして日常經濟闘争の主體としての我が評議會は全無産階級政治闘争主義の指導精神の下に最も重要な任務の一つである、日常經濟闘争の共同戦線體なる労働組合總聯合運動の、具體的解決に努力しなくてはならぬ。

【二】

最近急激に發達した我國の労働組合運動の情勢は、しかしながら廣大なる未組織労働者の存在を思ふとき、なほ勢力の少きを思はれる。しかも組織されたる労働者は數百の小組合に分立してゐる上に政治的傾向の差違による各分派の對立は、一層經濟闘争場面に於て戦線統一の必要を痛感せしめてゐる。今や國家資本主義トラストとして結成しつつある我國ブルジョアジーは、專制的遺制と抱合し、その獨裁的支配權確立への全線的展開を始めつつある。かくて産業の合理化、資本の正面攻撃等、全組織、機關をあげて(特に政治的權力を)動員して來てゐる。労働條件は低下し、失業者は増大する。加ふるに意識化し、ファシ

ストへの傾向をたどりつゝある右翼労働組合幹部は、公然とナルショアウィーと協力して、積極的には罷業の裏切をさへ始めてゐる。かくて必然に大衆の不満と反抗は増大し、日常經濟闘争は未曾有の激甚となり尖鋭化するに至りつゝある。

【三】

左翼労働組合は、労働組合の統一運動——強く組合の政黨的混合型特質を内包しつゝ——を展開しつゝある。中間派組合大衆も亦、總聯合運動に強き決意を表明してゐる。四月十一日に開かれた、日本労働組合同盟の全國大會は、満場一致を以て此の議案を可決してゐる。さらに浮動派組合の大勢又、總聯合の要望に満ちてゐる。労働大衆のこゝろの要望は、資本の全線的進出による、労働條件の低下、失業の増大等による生活の劣悪化と、新なる見地よりする左翼労働組合の指導と影響との結果である。

【四】

労働組合の總聯合運動は、政治上の意見の一致に求むべきに非ずして、政治上の意見の如何に拘はらずして、労働階級の日常經濟闘争の共同戦線體でなければならぬ。従つて直接には經濟上の共通利害なきところの労働組合と、農民組合との總聯合と云ふが如き組織には非ずして、労働組合と農民組合とは、別別の組織としての總聯合を組織すべきである。労働組合と農民組合との關係は、兩聯合體間の共同委員會を作ることによつて、兩者間の緊密なる連絡を保ちつゝ、争議の場合の相互援助等をなすべきである。

【五】

かかる労働組合總聯合の持つべきスローガンは、日常經濟闘争の共通なるものでなければならぬ。し

かして組織は全國的、地方的團體、及び、その聯合體を構成の單位となして、大會及び、その執行機關を持たなければならぬ。大會代表議員は、加盟組合員數に準じ比例にて選出せしめ、總聯合會費は、大會代表議員選出比例を以て加盟組合より離出すべきである。

【六】

かくて組織されたる總聯合は日常經濟闘争を活潑に指導し、その共同戦線としての任務と共に、日本労働組合の同様の労働組合運動の代表的機關となつて、國際的統一運動を促進しなければならぬ。同時に加盟組合の産業別整理を促進し、將來は全國的産業別組合を組織の基礎とする様に進まなければならない。

【七】

かかる労働組合總聯合實現の爲に、評議會は労働大衆の間に輿論を起す爲に宣傳を行ふこと。總聯合運動に關していかなる團體の提議といへども、全力を盡して賛成し極力支持すること。日常經濟闘争を通じて具體的行動に依つて總聯合の必要を徹底せしめること。

他の團體に争議が起つた場合は、全力を盡して應援すること。
共通の凡ゆる問題に就て、協同戦線を張り、忠實に闘争に参加すること。

特に必要なることは労働階級の立場を失はない（組合主義的指導精神の限界内に於てはあがあるが）中間派團體との共同戦線を張ること、その共同行動に注意して、協力の精神を保つことに努力することである。

而して他の團體より總聯合の提唱なき場合は、適當なる機會を捉へて評議會より總聯合の提唱をなさな

ければならぬ。
右決議す。

緊急決議案

△金融恐慌と工場代表者會議開催に関する緊急決議案。(神戸地方評議會提出)

神戸地方評議會は、彼の健康保険法闘争に於て見事にも「工場代表者會議」の組織に成功してゐる。かゝる經驗を基礎として此處に右の緊急決議案を上提したのである。提案理由を見ることにする。

財界恐慌に基く工場閉鎖、休業、解雇が全国的に蔓延しつつある。賃銀不拂、失業等による労働大衆の生活不安は日一日と増大しつつある。例へば九州地方に於ける坑山一帯には今や賃銀不拂に對する炭坑ストライキがまさに勃發せんとしつつあり、全國各紡織工場は一齊に繰業短縮を執行し、神戸ゴム工場に於ては全市三十工場が工場閉鎖をなし、或は又、泉州、八王寺、桐生、京都等に於ける織物業は凡て休業を断行した。

我が評議會は直ちにかゝる金融恐慌に基く労働者階級に強要されつつある犠牲に對して一大抗議運動を起し労働者階級の差し追つた今日の問題を取りあげ、その要求を代表して忠實、果敢なる闘争を開始せらる。

ばならぬ。

而してかゝる闘争を遂行するに當り、吾々は既に本大會の方針として決定されたる工場代表者會議の開催、その組織の即刻具體化と共に、更に又、方針に示されてあるが如き具體的闘争題目により、中間派、及び右翼組合の大衆に對し、工代會議開催の方法により、共同戦線をもちかけ、これを遂行すべく努力せなければならぬ。當面のスローガンとしては、

- △給料を完全に支拂へ！
- △休業中の日給を支拂へ！
- △工場閉鎖、休業反對！
- △賃銀値下反對！
- △労働者の生活を保護する緊急救済法を即時制定實施せよ！
- △失業手当法を即時實施しろ！
- △全労働者は即時工場代表者會議に集れ！

(以上)

この議案の説明者は中途に於て二人まで××の××から「××」××××。しかしながら提案者側はかくもあらんと数名の候補者を用意してあるので少しの障害でもなかつた。かうした「××」は大會全體を通じて、質問、討論の場合にも應用した。

××××××となつてゐる中で満場一致可決し、次ぎに緊急決議案として、臺灣高尾セメント會

社爭議應援」に關する決議案が採用され、ついで、

△統一同盟支持に關する件

が同じく可決された。

△議會解散請願運動支持に關する決議案

を可決したのち、前に掲げたところの運動方針大綱の小委員會報告を委員長杉浦啓一君が説明中
 ××「××」×れた。此時すでに時間が迫つてゐたので、この問題は中央委員會に一任となつた。
 最後に來年度大會に就ては、

場所 東京

時期 四月上旬

期間 三日間

新任中央委員は役員選衡委員會に於て慎重審議の結果、

中央委員長 野田律太、中央委員、金屬産業、杉浦啓一、松尾直義、河田賢二、港七郎、荒木從繩、印
 刷、太田博、木材、澤田徳松、電氣、中村義明、一般、今野健夫、中尾勝男、奥村甚之助、松葉清藏、
 福永豊功、地方、鈴木源重、唐澤清八、長谷川民之助、徳田英二、國領五一郎、奥田宗太郎、森下敏夫
 統制委員、山本懸藏、長谷川壽松、南喜一、統制委員候補者、第一候補、藤沼味一、第二候補、境一雄
 (以上)

以上によつて評議會第三回大會は終了したのであつた。

大會後の第一回中央委員會

さて、以上によつて評議會第三回全國大會は全く終了した。

この大會は、すでに見た如く我が左翼労働組合當面の凡ゆる重要問題に關して、餘程明快、確固
 たる態度、方針を決定したものであつた。而もかうした諸方針は、福本イズムの所謂理論闘争からも
 たらされたものではなく評議會が過去に於て闘争した諸經驗の中から成しとけられたものである。
 勿論福本イズムの影響は幾多受けてはゐるが、同時に福本イズムでは解決しがたいものをも立派に
 解決し得てゐるのである。

大會終了當夜の記念演説會は頗る盛況であつた。××××××××××××××××××××××××××××
 であつて、辯士は殆んど全部「××」命令を受けた。石が流れて木の葉が沈む」と云つただけで×
 止された辯士もあつた位だ。而も××を受けた者は一人残らず××である。この××××××に反抗し
 た唐澤清八君は××の××に依り××を受けた上に××××××××××××××××××××××××××××

翌十二日は新任中央委員の第一回會合を催した。こゝで大會後の残務一切を整理した上、本部常
 任委員の互選と、各部署を決定した。

中央委員長は常任委員長になることになつてゐる。政治部争議部中村義明、組織部婦人部、杉浦啓一、教育出版部調査部國領五一郎、財政部共済部松尾直義、國際部野田律太、關西オルガナイザー河田賢治。(以上有給)の諸君がそれである。

本部事務所移轉は一ヶ月以内に決行することになつた。

評議會は新方針を確立した。陣容は新らしく整つた。

金融恐慌による大衆闘争はかうした中に益々發展し擴大しつゝ、ある。各代議員諸君はそれごとく自分の持場々々に急いで歸つた。

第十四章 政治的大衆闘争

一、勞農黨と評議會の共同陣

勞農黨の活動

評議會本部の東京移轉は機宜に適した處置であつた。

金融恐慌以來、素晴しく發展した大衆闘争は、評議會本部をして他團體との交渉、關係、往復を緊密頻繁にしたのであつて、政治的中心から離れてゐた從來は、とかく運動上の敏速を缺き、時には下級組織たる關東地方評議會より本部の態度を指圖せられることさへしばしばあつた。

殊に左翼勞働組合は無産階級政治闘争主義を支持し、無産階級當面の闘争目標たる政治的自由獲得闘争に組合員を動員して戦ふ上に於て、組合總本部と、勞働農民黨本部の關係は極めて密接不離の間柄にあるので、此點は非常に好都合となつたのである。

さて、こゝで勞働農民黨の當時に於ける活動と、勞働組合の關係に就いて述べて見よう。勞農黨は、民主々義獲得を中心的任務として果敢なる闘争の先頭に立つた。

未曾有のパンニックに襲はれて大混亂に陥入り、津浪のやうな激浪の中で揉まれぬいた我國の資本家階級は、今や全く必死の努力を以て資本の安定策に狂奔した。

見よ！ 産業線に沿うて資本の合同、集中は遂行され、トラスト、カルテル等の組織は一層完備した。かやうにして基礎の強固をはかると共に生産は制限され、販賣は協定された。

かくの如き、所謂産業の合理化政策の強化は、云ふまでもなく労働者階級の上に、耐へ難きまでの負擔と、犠牲とおつかふせずにはおかなかつた。

労働者階級の苦痛はまさにその極點に達したのであつた。

川崎造船所では三千名の熟練労働者が一度に蹴首された。小名木川の富士ガス工場では一千名の女工が解雇された。京濱地方では、淺野セメント、ライジングサン、旭ガラス、富士製鋼、日本鑛管、その他の工場から一舉に數百名の労働者を失業群の中へ投げ込んだ。これは地方的資本家團體「六郷會」の指揮による資本家の積極的攻勢の現れである。森永大森工場では四百の女工が臨時休業を強要され、東京モス鰯戸工場では強制貯金が増額され、仕事の分量が約三割増してしかも賃銀は元々通りだ。

かういつた調子で全國到るところ條件は悪くなり、規則は嚴重になり、 \times は飛んだ。

資本が少數の大財閥の手に集中し、全經濟界の少數支配が確立すると、労働者階級を永久の敗

北に突きつめるために反動 $\times\times$ の $\times\times\times$ による $\times\times$ 、 $\times\times$ の力が $\times\times$ されてガムシヤラな $\times\times$ が強化されたのである。

労働者階級の生活不安は全く深刻となり、今は $\times\times$ してたはれるか、坐して $\times\times$ するか二途その一を選ぶ外なかつた。

かくの如き決定的情勢の中に於て、左翼の $\times\times$ 、 $\times\times$ 、 $\times\times$ する「 $\times\times$ 運動」の $\times\times$ による大衆的闘争は、益々大規模となり、産業別的或は地方的 $\times\times\times$ 、 $\times\times\times\times$ への發達、進行の道を急速に歩むのである。而もこれ等の闘争は、労働農民黨の活動と完全な連絡、提携、一致の下に行はれた。

此期に於ける闘争は、文字通り九州の端より北海道に到る全國に涉つた。例へば、北海道小樽の運輸労働者の $\times\times\times\times$ 、 $\times\times\times\times$ 、京濱地方の資本家團體「六郷會」を向うに廻した鶴見、神奈川三萬の工場労働者の闘争、三重縣森村の森林労働者の闘争、大阪木材協會を敵とした二十七工場の $\times\times\times\times$ 、南海電鐵争議を契機とした關西交通労働者の五分間 $\times\times\times\times$ 、神戸川崎造船所三千名の蹴首事件、徳島縣撫養鹽田の大罷業、九州筑豊炭坑の坑夫の闘争、等々である。尙ほ一工場のストライキに對し同一産業の全労働者がこれに應援し有利解決促進のために工代会議を開き短時間 $\times\times$ を決定した例は甚だ豊富である。大阪ブラシエの一時間 $\times\times\times\times$ 、東京平田ガラス工場争議應

斯くて、此の産業は、經營方法の幼稚、封建的な中間搾取者の介在等の複雑な關係を存したま、而も××資本主義の純然たる獨占事業となつてゐる。

さて、鹽田産業の上に不景氣風の襲つて來たのは他の方面より一廻りおくれて昨年（大正十五年）九月であつた。

即ち同年九月一日、××は「製産過剰」の名によつて×××を通じて鹽製産の一割制限の命令を發したのである。

この命令を受けた地方×××は、鹽業組合と祕密裡に相談して労働者には判らぬ様に制限の實施を行ふことにした。

鹽田労働組合は前にも述べた如く十五年の歴史を持ち數十回の闘争経験を誇る組合である。従つて問題が表面化するならば如何なる大騒ぎが勃發するかも知れぬので×××手段を××で一割制限の負擔をそつくり労働者に轉化しようとしたのである。

この××は、早くも労働組合によつて看破された。組合は八方に櫓を飛ばして九月八日、第一回労働者大會を開き、

- 一 絶対に休業せざる事。
- 二 若し休業する場合は、休業手當として日給全額支給する事。

三 來年度の賃金契約に對しては絶対に引き下げざる事。

四 労働條件を改善せざる事。

を決議し、直ちに鹽業組合長の手元に提出した。尙ほ、この問題は、國內鹽田労働者全體の上に加へられた問題であるから此機會に十州鹽田労働者の組織運動を起す必要がある。又それを實現する前提として撫養の組合自身、評議會の傘下に加盟する事が絶対に必要であると決定した。

鹽業組合は労働者の要求に應じなかつた。

交渉は決裂した。後は力と力との戦ひである。×××××は×××××た。集會を××し示威運動を××し××××××××して全部を××××××××××××。

「製産制限は×××××××！」

「はまじ溜奴（労働者をかう呼ぶのだ！）のクセに生意氣だ！」

×××××をふるつた。

かくて争議は評議會の強力なる應援の下に白熱、激化し、六十日間の猛烈な闘争の揚句労働者は凱歌を擧げた。

これが評議會加盟の時の第一回戦であつた。

第二回戦は×××

單獨組合時代の労働組合をさへも、もてあましてるた使用者團體は、それが今度、最も戦闘的な評議會に加盟した事と、すさまじい應援振りを見てすつかり驚き、×××た。殊に労働農民黨の支部を創立し、農民組合、その他と協力して地方的政治闘争に進出する事は彼等にとつて由々しき一大事であつた。

「このまゝではいけない！」

彼等は共通にかう叫んだ。これでは労働者の團結の前に手も足も出ない。一割制限の完全なる實施（それはその負擔を労働者に轉化する事だ）も、鹽田の整理も全く不可能である。そこで彼等は一舉にして労働組合を破壊すべく挑戰的態度に出た。

これに應戰して組合は奮起した。

第二回目の争議は翌年（昭和二年）四月十七日に火蓋を切られた。即ち一齊怠業の戰術の採用である。ところが敵もさるものだ、同月廿七日、五百名の労働者に解雇通知を送つて來た。こゝに到つてサボタージュはストライキへ轉向した。

かくて争議は七月三十一日午後一時、評議會本部へ「シヨウリカイケツ、イサイアトフミ」と云ふ愉快な電報が入るまで實に百餘日に互る持久戰となつたのである。

争議の中心は「高島」であつた。こゝの鹽田は最も質の好い鹽を採取する所であつて又労働者の團結力も一番強固であり戦闘的であつた。争議と云へばいつでも此所の労働者が先頭に立つのだ。使用者側は最初「評議會を脱退せよ！」と強要し、買収、懐柔、威嚇の方法を以て臨んだ。高島の労働者はかゝる陋劣な手段には乗らなかつた。高島が一齊罷業を開始するとこれに呼應して桑島、明神方面の労働者がストライキに入つた。

鹽田に於ける「解雇」は、都市労働者の「解雇」とは全く事情が違ひ、こゝで失業することはその住所を離れる事になり多數の者を一時に解雇する事は、直ちに村を破滅にみちびくものになるのである。それだけに労働者の決意は頗る強く眞剣である。

兒童盟休

カッ／＼に生活出来る程度の収入しかなかつた労働者は、ストライキに入ると間もなく可愛い、兒童を學校に通はす費用にさへ窮した。即ち五月二十三日より百五十名の小學兒童は一齊休校するに到つた。そこで應援團の中から適當な教師を選定し、校外教育を行ふことになつたのである。ところが××はこの頑はない可憐な兒童の上に×××なく××××××××××した。休校してより五日目のことだ。村内廣場に於て兒童の運動會を催した時、これを××××××××××××××××××××したで

はないか！

か、る××に對して労働黨及び組合は××しなかつた。

労働黨支部の活動

労働黨支部が、この争議中に關つた問題は澤山ある。列記してみれば、村政革新運動、産業組合奪還運動、悪税反對、市政腐敗問題及び徳島銀行破綻を動機として預金者大會を開催し又は彈壓反對町村民大會、争議解決促進聯盟の指導等々であつた。

これ等の運動に關して××××××××××事は繰返すまでもない。演說會場の使用は××××方法によつて妨害された。屋外集會は許可しない。又地理的な不便のために應援團は汽船から上陸した波止場に於て××××れる事がしばしばあつた。

如何なる苦痛の中にもよく耐へて労働者の意氣が益々擧るのを見た鳴戸、瀬戸、撫養の三町村長は專賣局及び使用者側と協力して調停に名をかり不利な條件を押しつけようとして來た。即ち彼等は云ふ。「鹽は國民全體の生活必需品だから、その生産が中止されては國家的大問題である」云々。

××××××。××××××様な理窟の前に降服する労働者は一人もゐなかつた。それどころか斯様な運動が起つたと云ふ報告に接した明神、黒崎等の労働者は罷業中の労働者と協同して大會を開き、

××××方針である生産制限、鹽田整理に反對し現在の労働條件の改善を叫び高島其他の争議を應援するために××××××を執行する旨決議した。そのためには撫養全體の「代表者會議」を持つための實行委員會を組織した。

スカツプを備ひ入れる

争議團の決死的闘争に對して全國の同志より軍資金が集まつた。就中、日本農民組合徳島聯合會から寄贈された白米二十俵が運搬された時は全争議團員一齊に萬歳！を叫び、歡呼の聲は鳴戸の急流にコダマするばかりだつた。労働者の意氣が盛んなる時、一方資本家側の鼻息も中々荒いものだつた。

撫養町の最大財閥にして町會を掌中に握る谷伊久茂は自己の所有する鹽田の價値を維持するために數千圓の私財を提供し又本齊田鹽業組合からは是又豊富な物質的援助をして評議會××のために協力した。

争議團の切り崩しがたうてい不可能と知るや、彼等は香川縣坂出方面に人を派してスカツプを雇入れた。争議團はこれ等事情を知らずに來島した同職者に對し事件の要領を知らしたので、スカツプは資本家側の甘言を怒り一悶着を起した。

オイ皆！ 俺達の今やつてゐる事は知つてゐるだらう。總ストライキをやつてゐるのだ。何のために？ 知れてるぢやないか、××××俺達のいじめられてきたのをやつつけてやるんだ！

お前達は今迄マイコをヌマイて居つて、イヤやつたとなるとおめい等仰いてゐるのか？ それじやお前の良心に恥じないのか？ ソレヤア俺達だつて明日喰ふのに困つてはゐるが、今の事より末の事も大事だからなあ！！

俺達、今にいゝ事を取つて見ろ、お前達もまんざら悪くはあるまい。そこなんだ。苦しめられた時も一緒なら樂になる時も一緒の事よ。

俺達、今にお前達を誘ひに行くからその時は悪い顔せず一緒にやらう。苦しいことを忘れたのか？ 團結の力を知つてゐるだらう。引上の準備をしるよ（下略）

このビラの中には少しも過激な文句もないし、又命令的などころもない。労働者の言葉で兄弟のやうに呼びかけてゐるではないか！

これでこそ××の「××」が出来たのである。××××だと云へば怖ろしく固い文字を列べ立てる者があるがそれでは×××。事實上、小樽の××××は×××なアチテーションでグン／＼伸びて行つた。

闘争の發展、市民との結合

資本家團は、事の意外に擴大する光景を見て狼狽した。山甚を援助しようとしたものが今度は自分自身、助力を乞ふ有様となつてきた。

而も彼等が唯一の頼みとした×××××××は全く失敗した。けれども彼等の元氣は中々旺んで殊に資本家團體の中堅をなしてゐる幹同業組合は「數萬金を投じても労働組合を此際叩きこはさすにはおかぬ！」と豪語して一步もゆづらなかつた。

彼等が、かくの如く強硬に頑張れば頑張る程、ストライキは大規模になつて行つた。

レポートの中で既に見たやうに、二十日、二十一日、二十二日の間に全運輸労働者の完全な總罷業が行はれた。二十四日には三井、三菱、山下貯炭場の従業員が踵を接するやうにしてストライキに参加したので愈々問題は重大化したわけだ。

小樽には多數の自由労働者が散在してゐるからスカップの危険があるが「××××××××××」である今度の争議は、日傭労働者であるこれ等の大群をも罷業に参加せしめ得たのでその心配は絶無だつた。

資本家は、スカップの雇入れのためには遠く函館、室蘭、旭川方面より高價な給料を約束して雇入れる外はなかつた。

××××の大詰め

小樽の××××ストライキは、多少なりとも階級運動に關係を持つ者の間に非常なショックを與へた。殊に評議會加盟組合では「意義ある闘争を資金で敗かすな！」と云ふので一齊に軍資金募集運動を起した。争議應援特別委員會が設置され、金を持ち合さない者からは「電車切符」まで集められた。又全国的に運輸労働者の集まつてゐる所へ組合員が出かけて××××の報告をすると共に應援金募集を行った。

又、小樽とは密接な關係のある函館では評議會所屬組合が直ちに活動して運輸労働者の中へ猛烈なアヂテーションを持ち込んだ。

「小樽行の船の荷役を中止しろ！」

函館の活動は同時に室蘭、釧路にも傳波した。

「小樽の兄弟を救けろ！」

「ケガをした時負傷手當を出させろ！」

そして此處でも労働組合指導の下に、現場の有志が發起人となつて「代表者會議」が開催され、小樽と同じやうな要求が出された。

かくて小樽の争議は、益々擴大した。

更に小樽市に於ては、運輸労働者以外の「工場代表者會議」が開かれ八工場主に要求をつきつけ、又沿海州木材積取人夫六千人の大會が持たれ、

一、賃銀五割値上

一、夜間労働五歩増

一、船内住居、客船三等の待遇を與へよ

一、副食物の改善、米は日本米、野菜を毎日喰はせよ

等を要求して起ち上つた。

罷業團と、××××協同戦線による政治闘争の激化、ストライキの××××！

小樽を中心とする××××××××、全く混乱し××××の偉力は實に素晴らしいものになつた。

全道代表者會議を召集し、之によつて文字通り北海道を「×」の状態に陥入れる日は近づいた。

かゝる形勢に對して資本家團體はも早××××ある。彼等は資本家全部一致して對抗する決議をし、莫大な豫算を以て飽くまで頑張ると威勢を張つてゐた。

「ストライキは永くつゞくものではない」

「解決の道は、労働者が無條件で降伏するだけだ！」

だがこの怖ろしい労働者の團結力を見てはトテモ威勢は維持しあはなかつた。

政府に對する要求

- 一 金融恐慌に基く工場閉鎖による労働者生活保護の特別救済法の即時實施
- 二 失業手當法の即時實施
- 三 大資本関救済政策絶對反對

更に工代會議は兵庫縣下全工場労働者大會の開催、十分間ストライキの敢行、議會解散請願運動への参加等をも決定した。

この工代會議には川崎造船所の代表者も勿論参加してゐる。だから神戸全市の労働者は今や一つの組織に結束して一大闘争を展開すべく準備を整へてゐるわけだ。

かゝる形勢を誘發激成した評議會は、満身の精力を以て活潑に奮闘した。

神戸地方評議會は殆んど毎日の如く會合を持つて刻々深化し行く情勢に應じて對策を協議した。

××の方針は此際松方社長を引退させてその後釜には××××をもつて來て軍事的な就業規則を強制し一層××××と××××を行ふ様子である。

此の形勢を見て神戸地方評議會が職場の中へ持ちこんだアヂテーシヨンのピラには次の如く呼びかけてゐる。

諸君の不安はヤットしてゐては除かれないんだ、××××ぞ！ ×××××が！ あとに残つた者もワ

ンと割が悪くなるんだ。何とかせなければ駄目だと言つて早くも寄々相談があちらの職場でもこちらの職場でも始まつてゐる。中にはもう職場大會を開かうじやないか、職工大會で全員が協議しよう。と云ふ意見を決めた職場があるんだ。

サウダー！ 職場大會を開け！ 全従業員會開催の意見に賛成しろ！ それこそ諸君等の不安を除く唯一の方法なんだ。工場閉鎖反對！ 誠首反對の聲は日に増し強くなつてくる。

職場大會を開け！

従業員大會を開け！

かやうなピラは毎日の如く持ち込まれ全員の手から手に渡つた。

此間にあつて評議會の××メンバーは目覺しく活躍した。外部に於ける工代運動と相まつて工場内は隔々までに動搖の波紋は行渡つた。かくて六月二十日には兵庫分工場三千五百名の従業員が工場廣場に集會し四ヶ條の決議をなし七名の實行委員を擧げて下田所長に提出した。この報告を受けた本工場八千の従業員は廿一日正午を期してポンプ工場に集合した。昨日兵庫工場に於て開かれた従業員大會に恐怖した會社は暴力團及び巡視部員を總動員し、更に×××××として従業員大會妨害の準備をすゝめた。

やがて職場々々の従業員が叫聲を擧げてはせ集り、司會者が立つて開會の辭を述べんとするや暴力團がとび出して直ちにそれを壇上から引ずり下して××××××××××た。之に代つて他の一

